

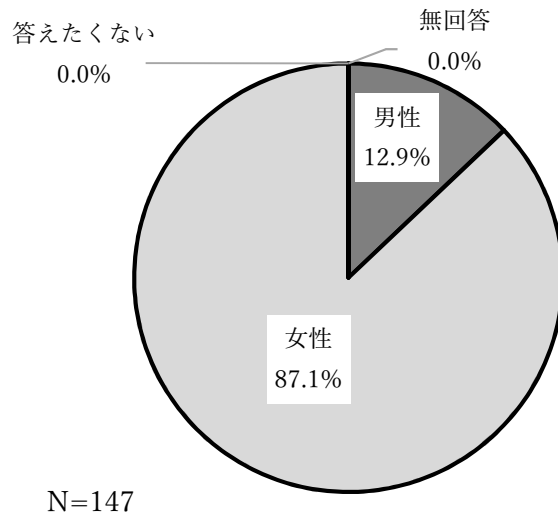
アンケート調査報告書

【強度行動障害のある人の家族】

【A アンケートにお答えいただきご家族の基本的なことについてお聞きします】

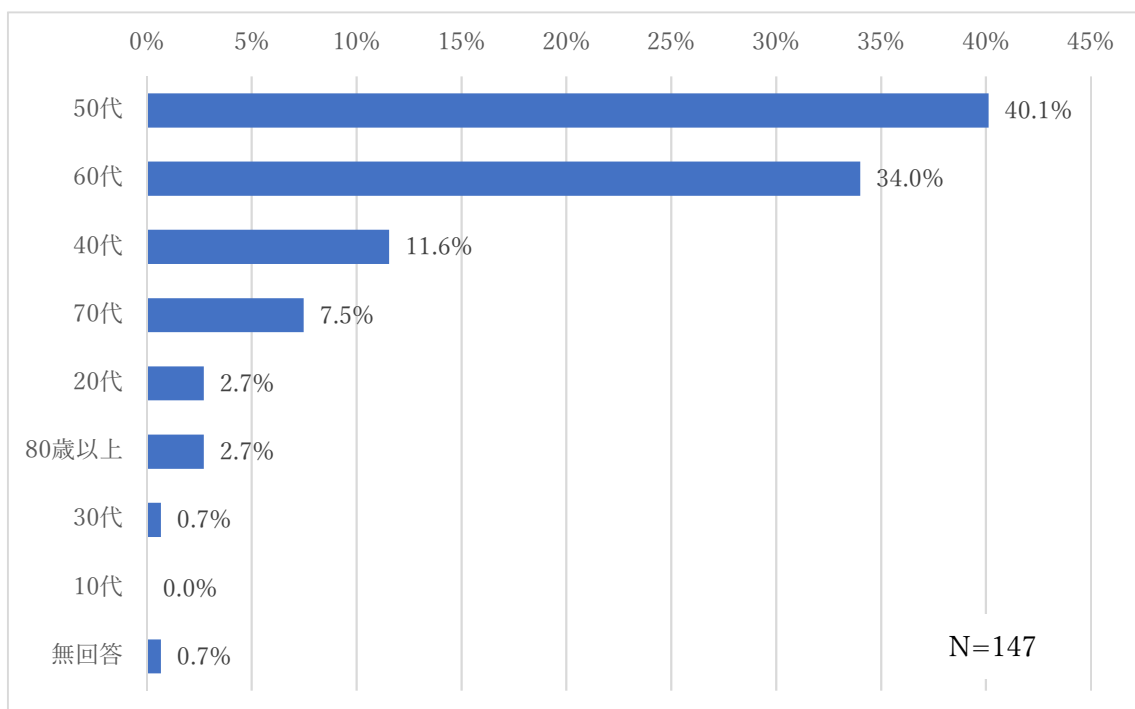
問1 お答えいただく方（あなた）の性別について、お答えください。

性別は、「男性」（12.9%）、「女性」（87.1%）となっている。



問2 お答えいただく方（あなた）の現在の年齢について、お答えください。

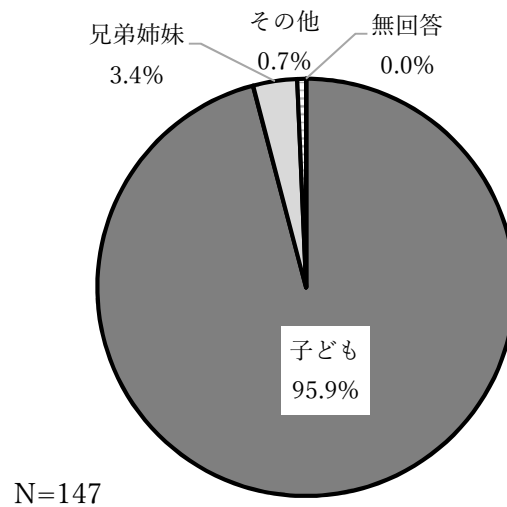
年代別は、「50代」（40.1%）が最も多く、次いで「60代」（34.0%）、「40代」（11.6%）となっている。



【B ご本人（障害のある方）の基本的なことについて伺います】

問3 あなたからみて、ご本人はどの続柄になりますか。

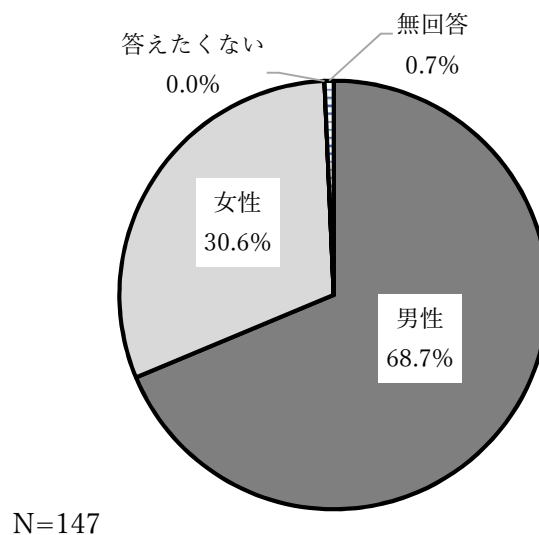
続柄は、「子ども」(95.9%)、「兄弟姉妹」(3.4%) となっている。



(その他) 姪

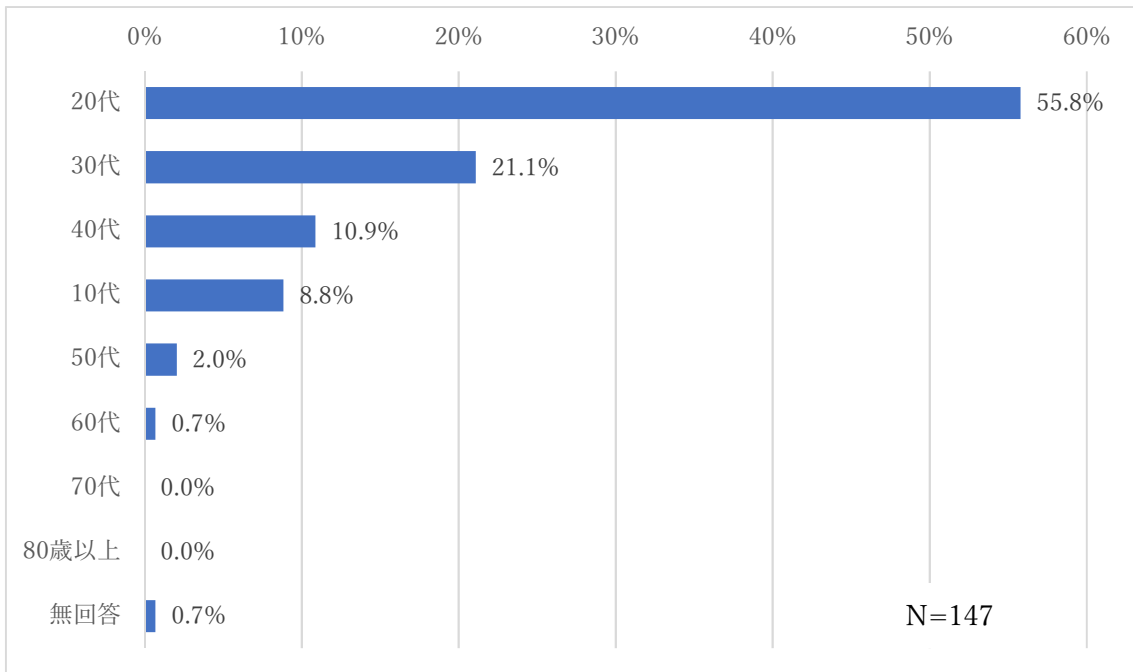
問4 ご本人の性別について、お答え下さい。

性別は、「男性」(68.7%)、「女性」(30.6%) となっている。



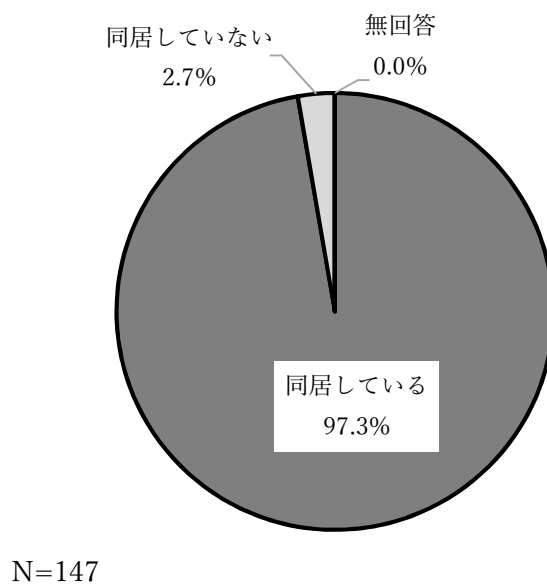
問5 ご本人の現在の年齢について、お答えください。

年齢は、「20代」(55.8%)が最も多く、次いで「30代」(21.1%)、「40代」(10.9%)となっている。



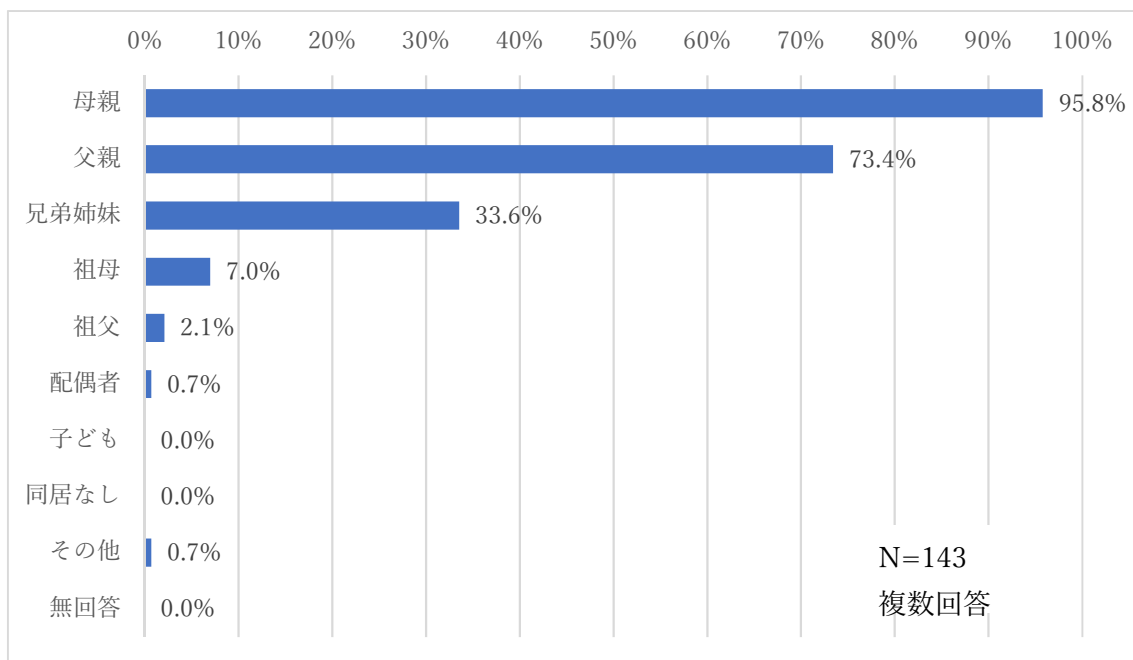
問6 現在、ご本人と同居していますか。

同居については、「同居している」(97.3%)、「同居していない」(2.7%)となっている。



問7 同居家族について、当てはまるものをすべて選んでください。

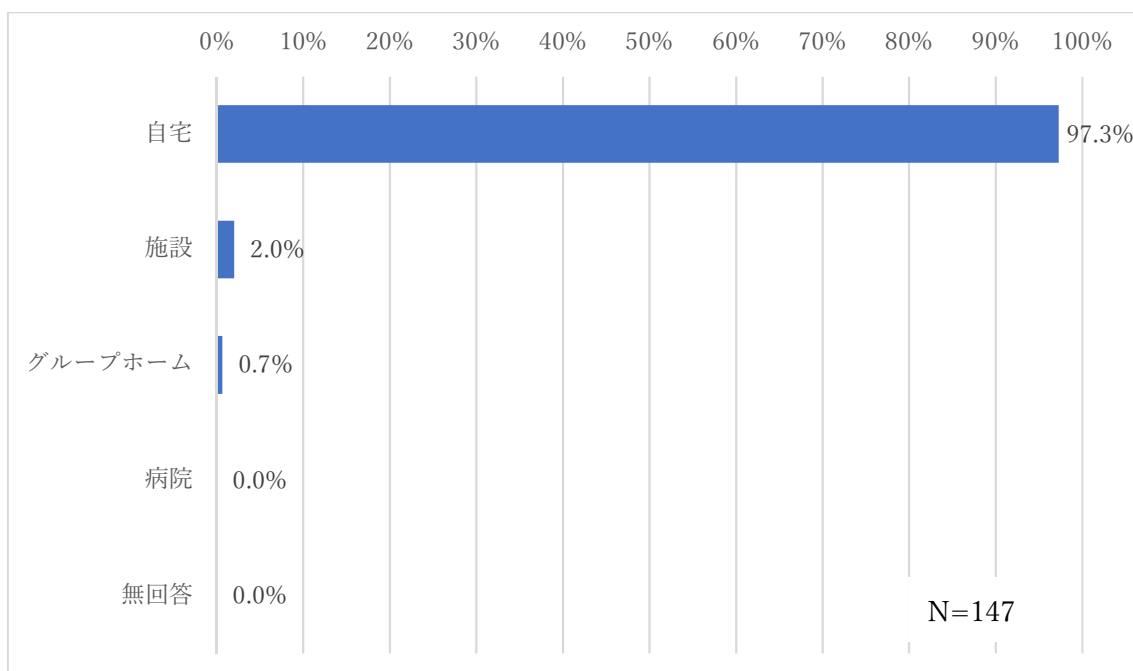
同居家族については、「母親」(95.8%)が最も多く、次いで「父親」(73.4%)、「兄弟姉妹」(33.6%)となっている。



(その他) 私の主人、子は私の連れ子

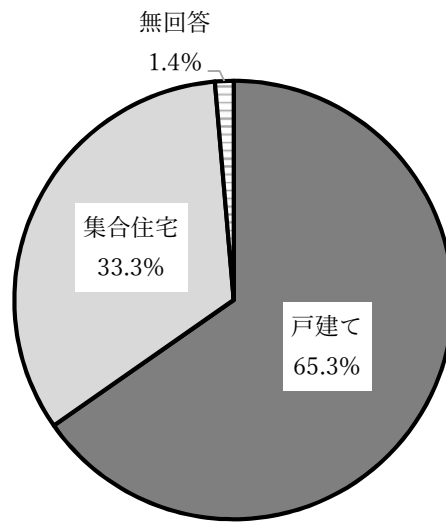
問8 現在、ご本人は主にどこで生活していますか。

主な生活場所については、「自宅」(97.3%)が最も多く、次いで「施設」(2.0%)、「グループホーム」(0.7%)となっている。



問9-1 ご本人の住まいについておたずねします。住まいの形態について、お答えください。

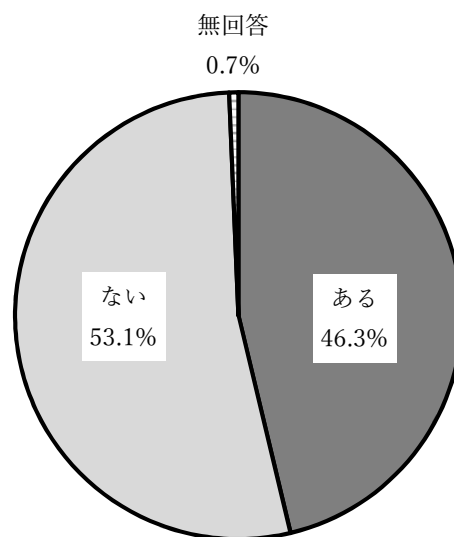
住まいの形態については、「戸建て」(65.3%)、「集合住宅」(33.3%)となっている。



N=147

問9-2 ご本人には「個室」はありますか。

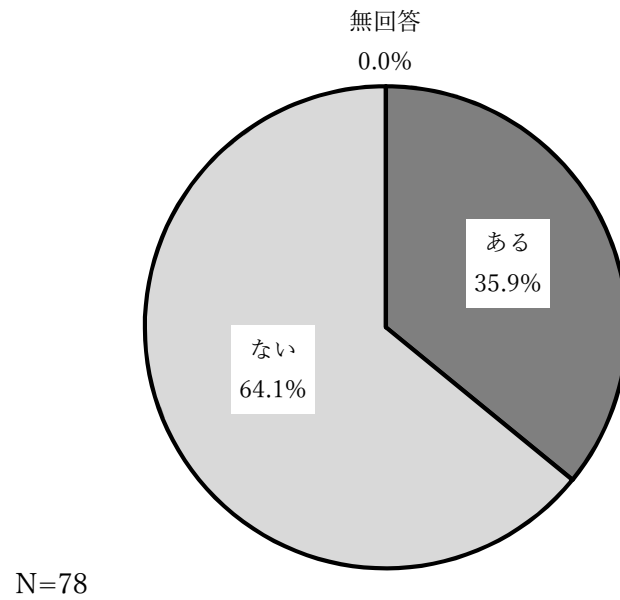
個室があるかについては、「ある」(46.3%)、「ない」(53.1%)となっている。



N=147

副問9-2-1 問9-2で「ない」と答えた方におたずねします。お住まいの中に、ご本人が専用で使える区切られた場所がありますか。

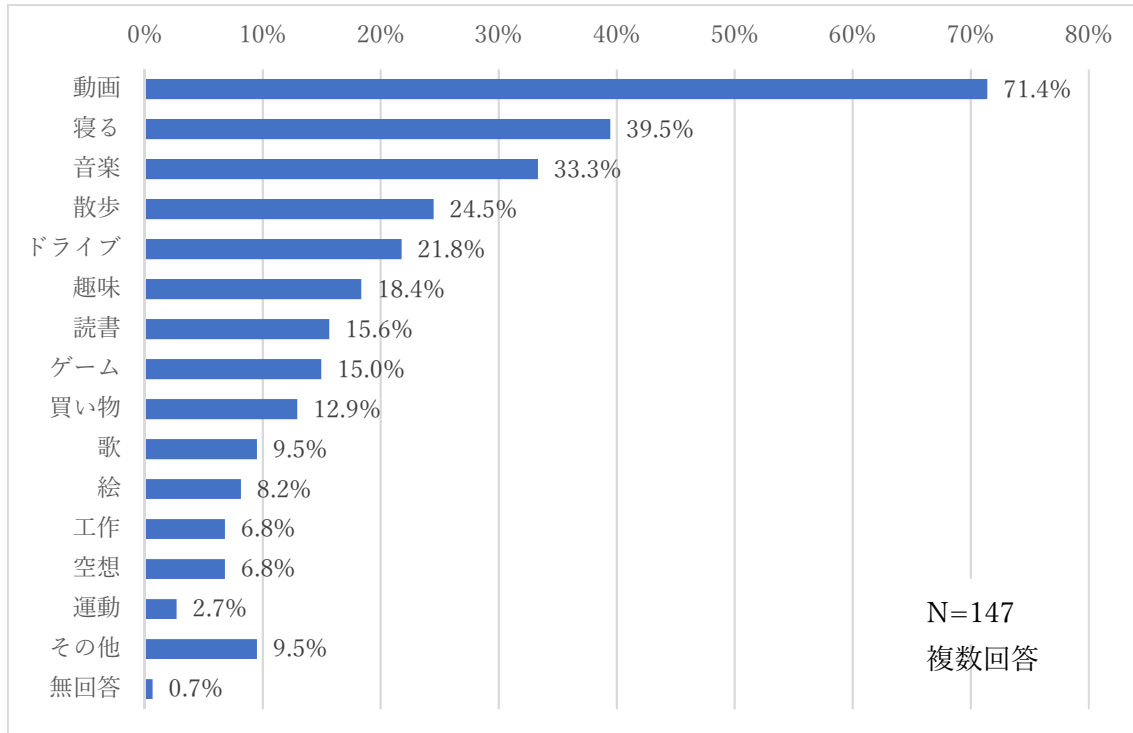
専用で使える区切られた場所があるかについては、「ある」(35.9%)、「ない」(64.1%)となっている。



【C ご本人の余暇について伺います】

問10 ご本人は、主にどのようなことをして過ごしていますか。3つまで選んでください。

主にどのようなことをして過ごしているかについては、「動画」(71.4%)が最も多く、次いで「寝る」(39.5%)、音楽(33.3%)となっている。

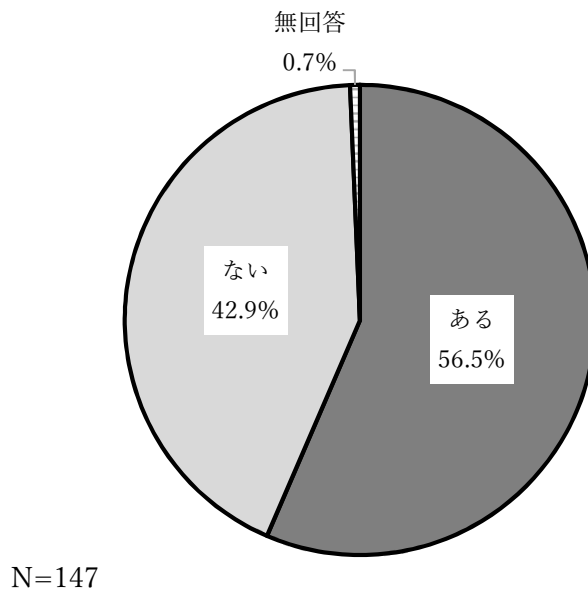


(その他)

- ・油断をすると家から逃走して帰ってこない。警察署に迎えに行く。3才から現在まで1ヶ月に1~2回。
- ・自分が好んで買った物をやぶり捨てる。
- ・2才からのカラオケ本(童謡)
- ・プール
- ・ノートに文字をつづる
- ・独り言など
- ・ぬり絵
- ・ひも通し(ひもに穴のあいた物を通す)
- ・余暇を楽しむため、ヘルパーさんと外出して映画、ボーリング、障害者講座等々
- ・余暇を楽しむ仲間(グループ)を作り、皆でやりたい事を決めて、運動、料理、遊ぶ等(親が全て手伝っている)
- ・大声で好きなこと、食べ物を言い続ける
- ・ものをふりまわす。
- ・チラシをやぶり、ねじってこよりを作る
- ・書店へ行く

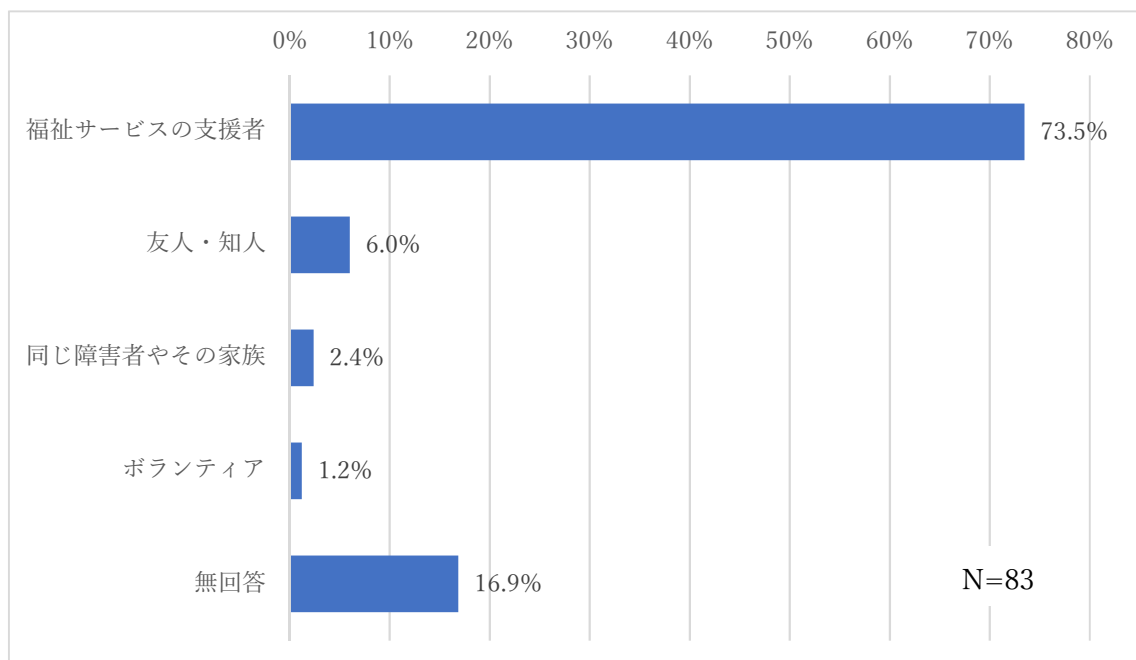
問11 ご本人は、日ごろご家族以外の人と外出することがありますか。

家族以外の人と外出することがあるかについては、「ある」(56.5%)、「ない」(42.9%)となっている。



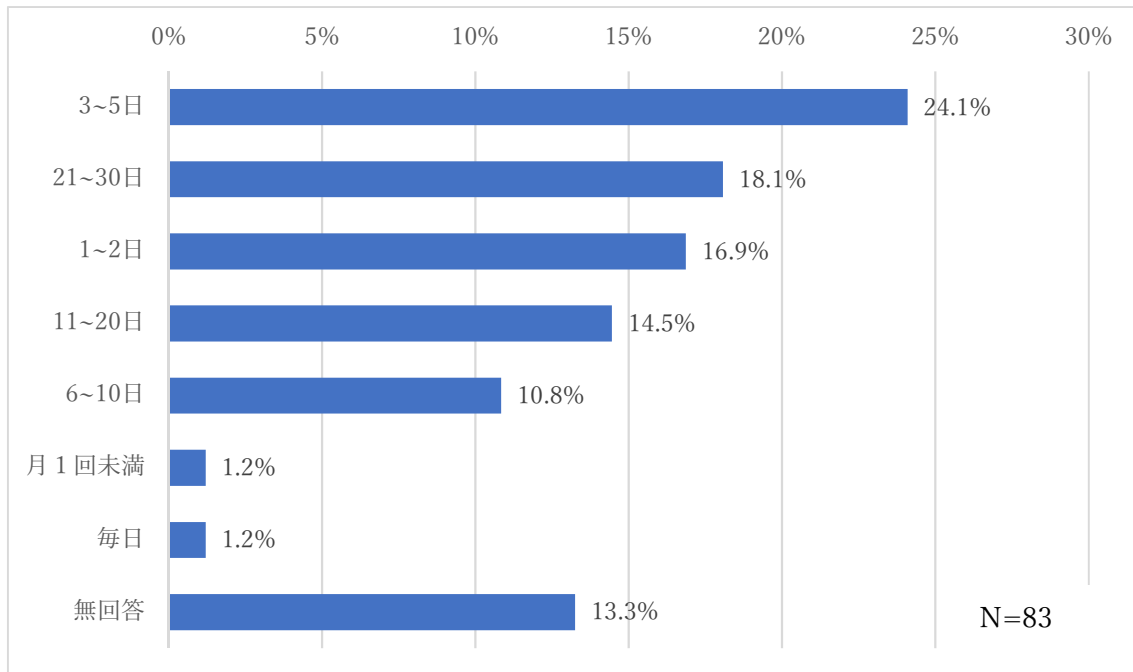
副問11-1 問11で「ある」と答えた方におたずねします。主に誰と外出しますか。当てはまるものを1つ選んでください。

誰と外出するかについては、「福祉サービスの支援者」(73.5%)が最も多く、次いで「友人・知人」(6.0%)、「同じ障害者やその家族」(2.4%)となっている。



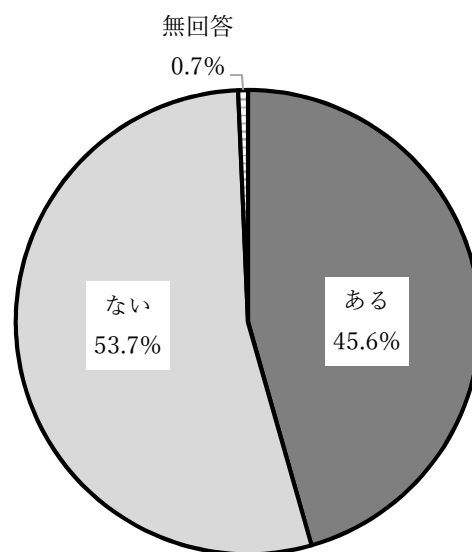
副問 1 1-2 問 1 1 で「ある」と答えた方におたずねします。1 ヶ月に何日程度、外出されていますか。

1 ヶ月に何日程度、外出するかについては、「3～5日」(24.1%) が最も多く、次いで「21～30日」(18.1%)、「1～2日」(16.9%) となっている。



問 1 2 ご本人は、日ごろご家族以外の人と外泊することがありますか。(施設の一時利用(ショートステイ)を含む)

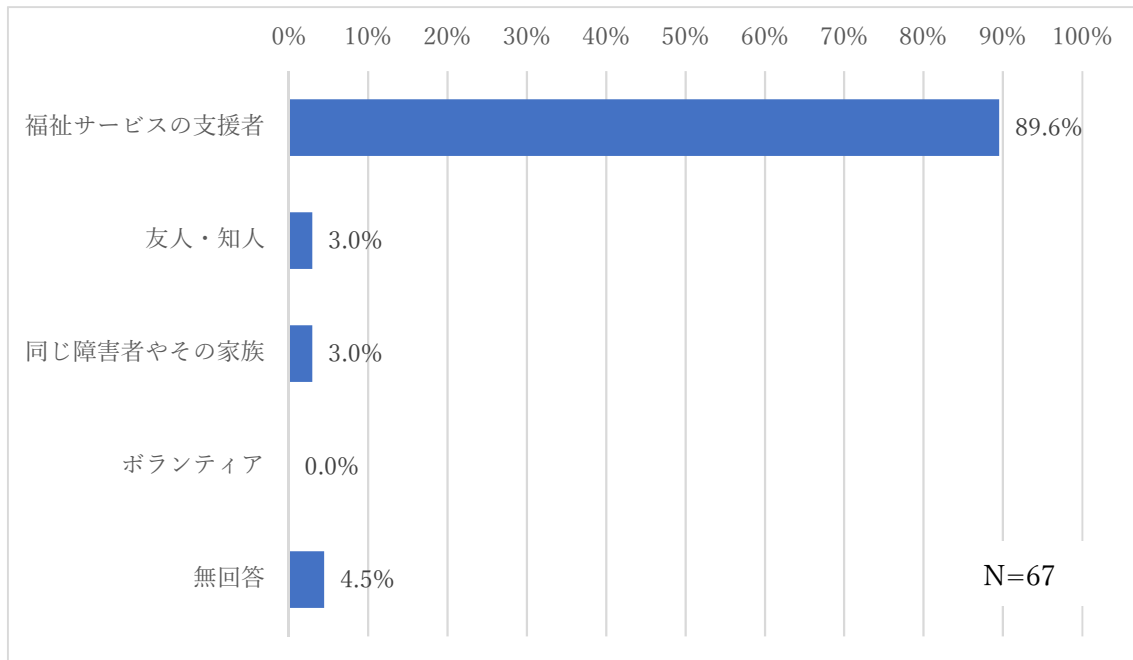
家族以外の人と外泊することがあるかについては、「ある」(45.6%)、「ない」(53.7%) となっている。



N=147

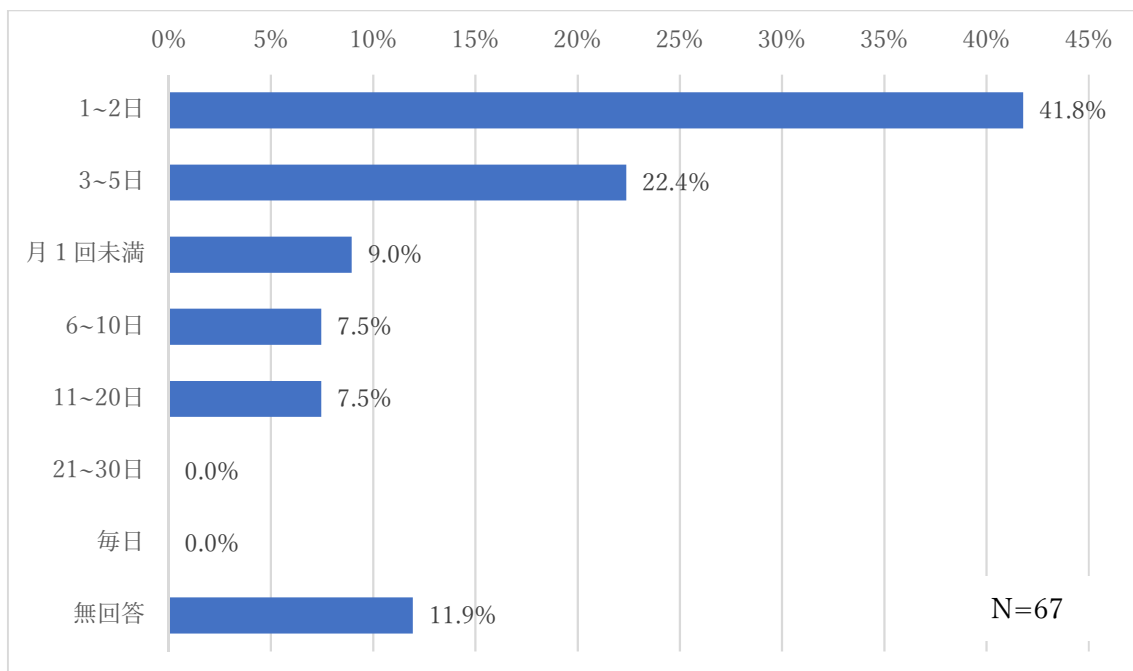
副問1 2-1 問1 2で「ある」と答えた方におたずねします。主に誰と外泊しますか。
当てはまるものを1つ選んでください。

誰と外泊するかについては、「福祉サービスの支援者」(89.6%)が最も多く、次いで「友人・知人」・「同じ障害者やその家族」(3.0%)となっている。



副問1 2-2 問1 2で「ある」と答えた方におたずねします。1ヶ月に何日程度、外泊されていますか。

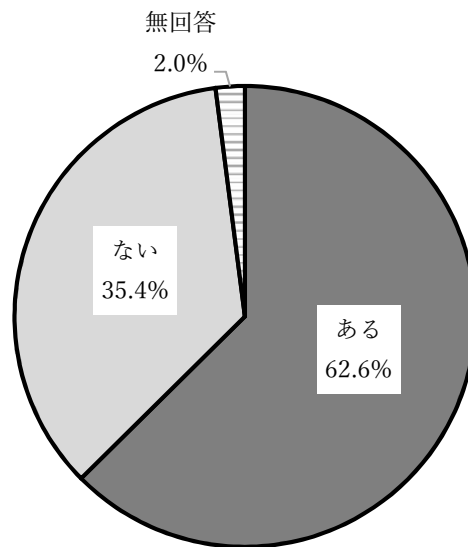
1ヶ月に何日程度、外泊するかについては、「1～2日(41.8%)」が最も多く、次いで「3～5日」(22.4%)、「月1回未満」(9.0%)となっている。



【D ご本人の日常生活を支える「基本の手立て」について伺います(その① 特性の理解)】

問13 ご本人の「感じ方(感覚)」や「まわりのことへの理解の仕方」「自分の気持ちの表し方」「相手の気持ちの理解の仕方」「行動パターン」など(これらのことについて、このアンケートでは「障害特性」と記載します)にどのような特徴があるか、専門職の人(医師、発達障害に関する専門機関の職員等)などに調べてもらったことがありますか。

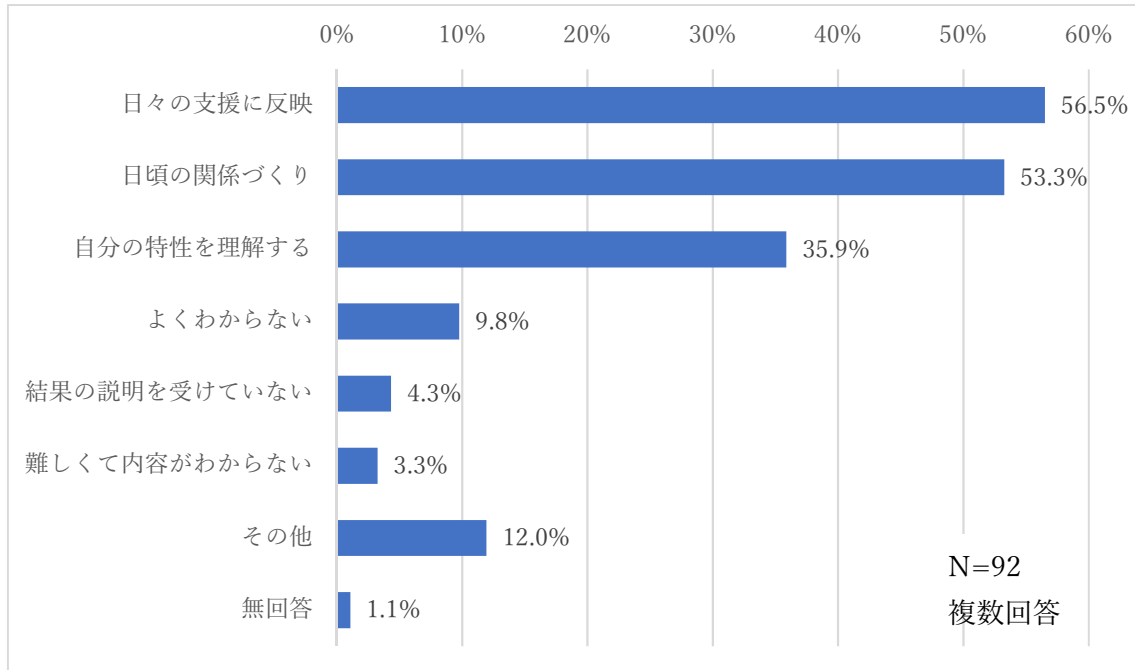
専門職の人に調べてもらったことがあるかについては、「ある」(62.6%)、「ない」(35.4%)となっている。



N=147

副問13-1 問13で「ある」と答えた方におたずねします。調べた結果は、どのように役立っていましたか、当てはまるものすべてを選んでください。

どのように役立っていたかについては、「日々の支援に反映」(56.5%)が最も多く、次いで「日頃の関係づくり」(53.3%)、「自分の特性を理解する」(35.9%)となっている。



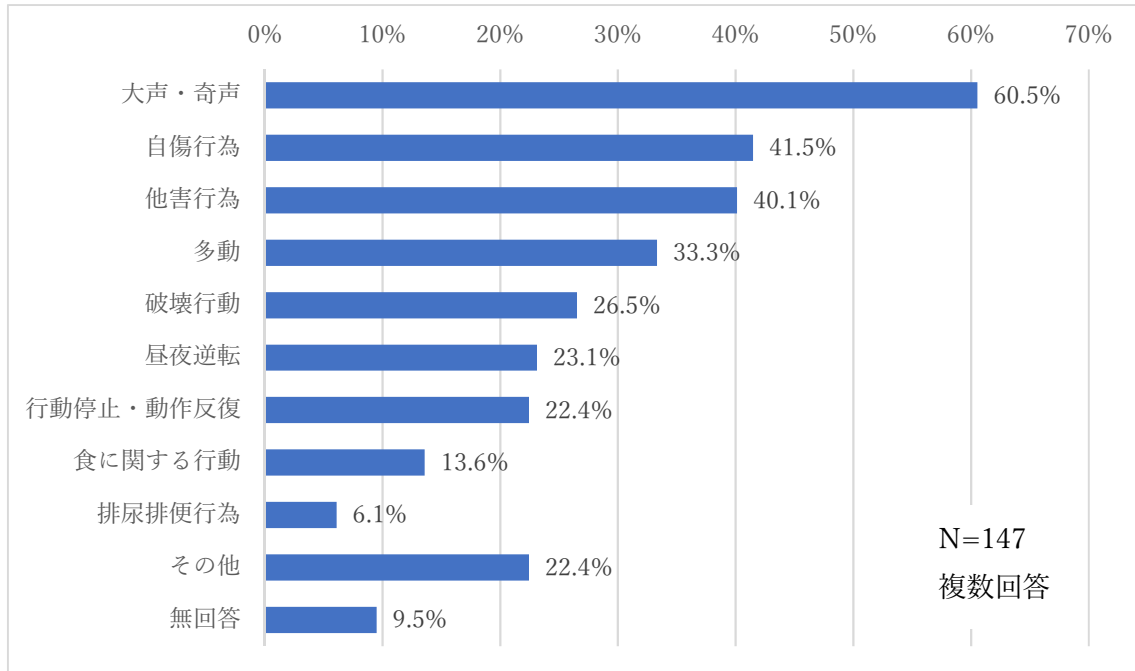
(その他)

- ・病院
- ・通所施設で、就労支援を受けている。
- ・幼児期のみで成人してからはありません。
- ・色々な方に診て頂いたが、本人が話せないこともありよくわからず、日々の状況に対応しているのが実情。
- ・特性の理解から色々な経験を積み、出来るだけ社会で生活しやすいように考えるようになった。
- ・こだわりが強いのでパニックを起こさないように気をつけている。ヘルパーや事業所の方、訪問看護師に聞く。
- ・進絡の検討。支援機関などの検討、利用。
- ・医師に相談をしたりアドバイスをもらっている。
- ・幼児期にはある。学校でも TEACCH、ABA をとり入れた方法を教えてもらえる機会もあり相談もできたが、現在はなにもしていない

【D ご本人の日常生活を支える「基本の手立て」について伺います（その② 日常生活について）】

問14 ご本人が日常生活を送る上で、障害特性があるために起きる行動で困っていることは何ですか。当てはまるものをすべて選んでください

行動で困っていることについては、「大声・奇声」(60.5%)が最も多く、次いで「自傷行為」(41.5%)、「他害行為」(40.1%)となっている。



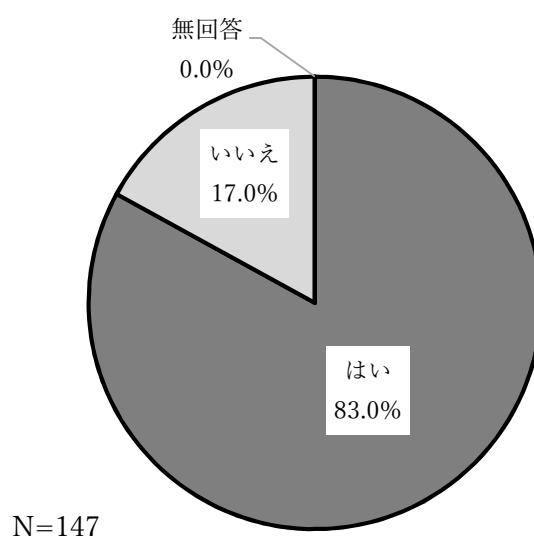
(その他)

- ・窓からオシッコをする、トイレトペーパーや服を便器に入れる、母親のタンスにオシッコをする
- ・何でも口にする
- ・納束の時間までに帰宅せずバスで回遊し家族に心配をかける
- ・疑似発作
- ・独語(3)
- ・とびはねる、自分の服をかむ(叫びながら)
- ・自分の頭に浮かんだことを、たくさん話しかけようとする
- ・行動が読めずいきなり走り出す。決まったルートしか使わない(バスの遅延でも他の交通機関をつかわない)
- ・前もって予定を伝えるとその予定が来るまでずっと言い続ける
- ・嫌いな声・音・におい、色などがある
- ・つねる、ひっぱる等の自傷行為、物をはげしく置く
- ・ピアノの部屋まで走って行き、思いっきりキーボードをたたいて心を静める
- ・何度も気になる事を尋ねてきて、本人の希望に添った返事をしているにも関わらず、段々不穏になってきて、それが行動にも表われ選択肢の様な状態になる
- ・同じ事を何回も言う
- ・指示が通らなくなる

- ・手洗いが好きで、手洗い洗剤にこだわりがある。服をぬらしてしまう位熱心にする。最近ではマスクを濡らして顔をふきまくり、肌荒れが心配。これから寒い日で手荒れで大変、本人は平気。
- ・嘔吐(えずく) (2)
- ・シールにこだわりがある
- ・床を蹴ったり、壁を叩いて大きな音を出す
- ・外に出てしまう。警察に数回探していただいた。
- ・暗くなると怖がる、回りをキョロキョロして不安がる
- ・だれにも声をかける
- ・こだわりが多い
- ・物への執着が強い、無くなったりすると、大声を出したり手が出る
- ・かべ紙、ふすま等、少しのやぶれキズを見つけると全体をやぶるまでやめられない。カレンダー、ポスターはかならずやぶる。
- ・紙や物などのこだわりが強い。
- ・本人がしたいことをしているか確認すること。本人がしたいことをできる、あるいはさせるためにできること。
- ・現実と妄想の区別がつかなくなる

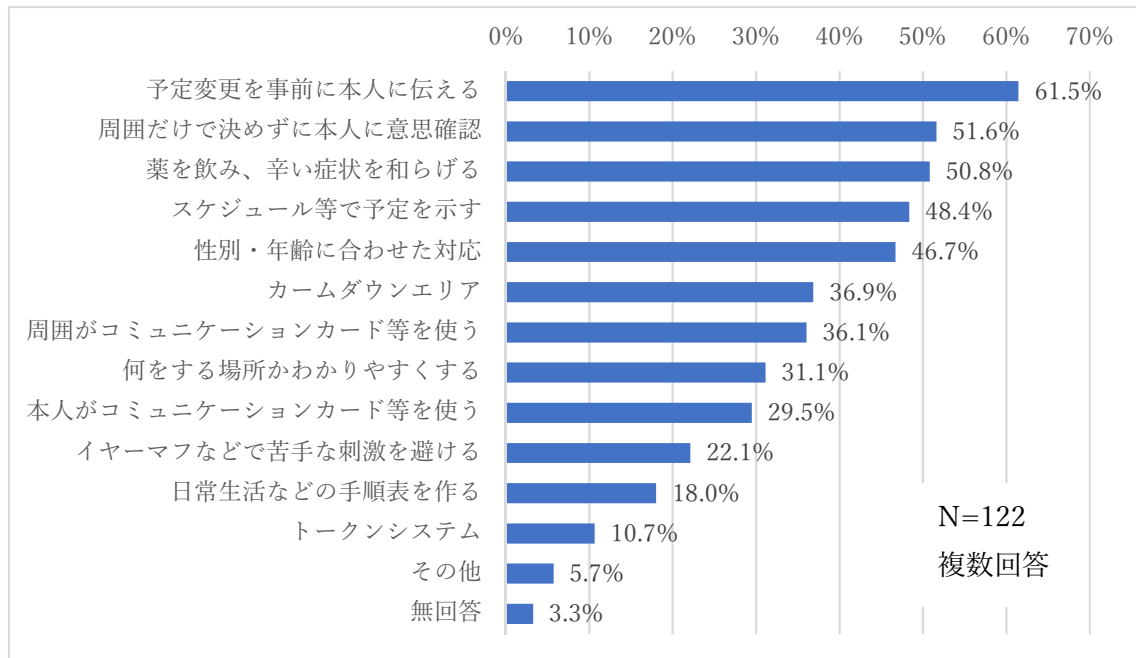
問15 ご本人の生活を支えるために、特に配慮が必要な障害特性に対して、現在、何らかの「手立て」を行っていますか。

何らかの「手立て」を行っているかについては、「はい」(83.0%)、「いいえ」(17.0%)となっている。



副問15-1 問15で「はい」と答えた方におたずねします。具体的にどのような「手立て」を講じていますか。当てはまるものをすべて選んでください。

どのような「手立て」を講じているかについては、「予定変更を事前に本人に伝える」(61.5%)が最も多く、次いで「周囲だけで決めずに本人に意思確認」(51.6%)、「薬を飲み、辛い症状を和らげる」(50.8%)となっている。

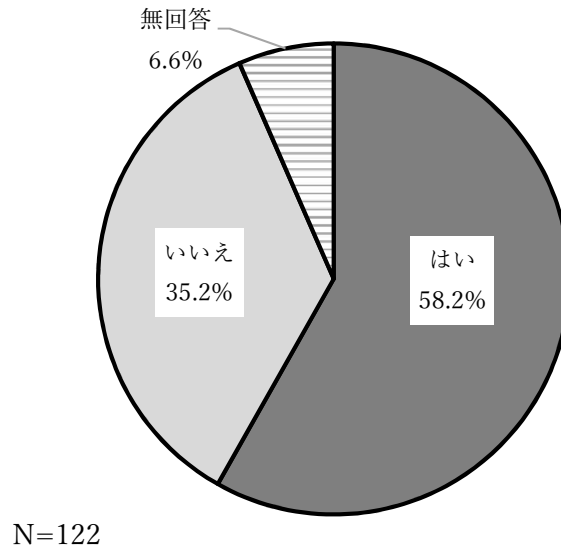


(その他)

- ・気分が変わるために好きな音楽や言葉をきかせています。
- ・写真より言葉の方がよく伝わるので直接事前に伝えます。「約束は絶対」なので確実な事しか伝えません。
- ・うちの子は一般的な行動とは違うので全部あてはまらない、身体も不自由になったので身のまわりの事など全部介助が必要、基本寂しがりなので1人ではいられない
- ・本人の気分や体調への配慮。本人の意思を汲み取りできる限りそれを尊重すること。
- ・処方された薬にすべて日にちを書いて薬がなくなっていくことへの不安をなくす努力をしている。

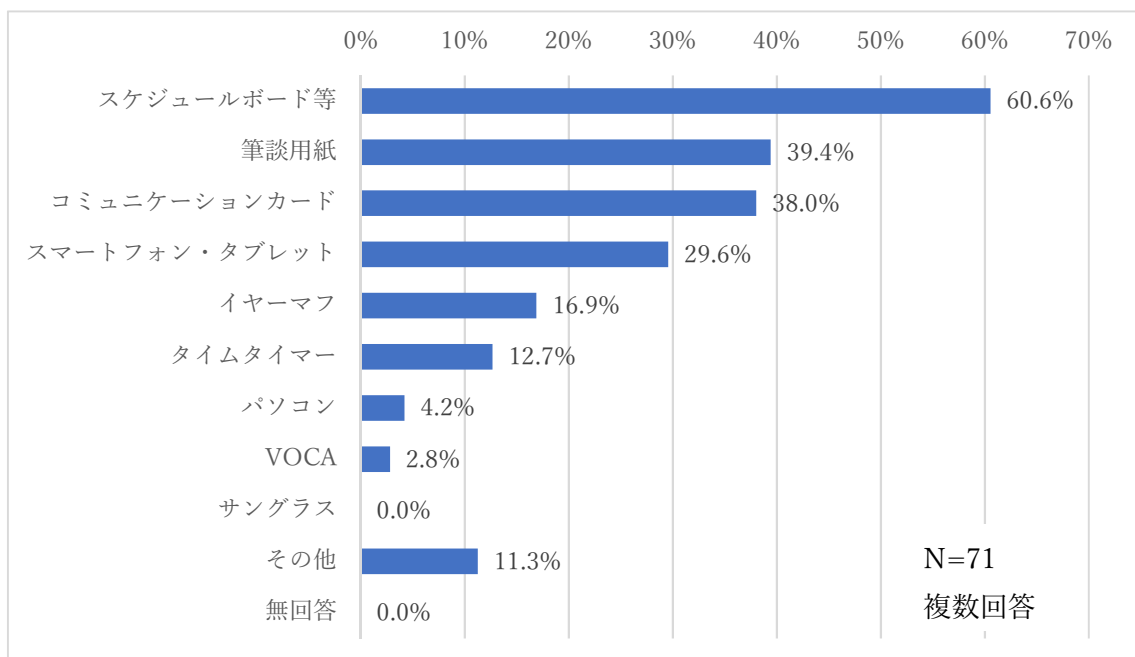
副問15-2 問15で「はい」と答えた方におたずねします。日常生活上の「手立て」を講じるにあたり、ツール（道具や用紙など）を使っていますか。

ツールを使っているかについては、「はい」(58.2%)、「いいえ」(35.2%)となっている。



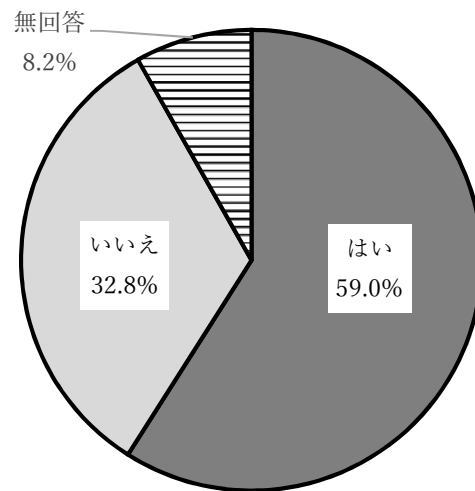
副問15-2-1 副問15-2で「はい」と答えた方におたずねします。主にどのようなツールを使っていますか。ご本人と一緒に使うもの、またはご本人が自分で使うものについて、当てはまるものをすべて選んでください。

どのようなツールを使っているかについては、「スケジュールボード等」(60.6%)が最も多く、次いで「筆談用紙」(39.4%)、「コミュニケーションカード」(38.0%)となっている。



副問15-3 問15で「はい」と答えた方におたずねします。日常生活上の「手立て」を講じるうえで、難しいと感じることがありますか。

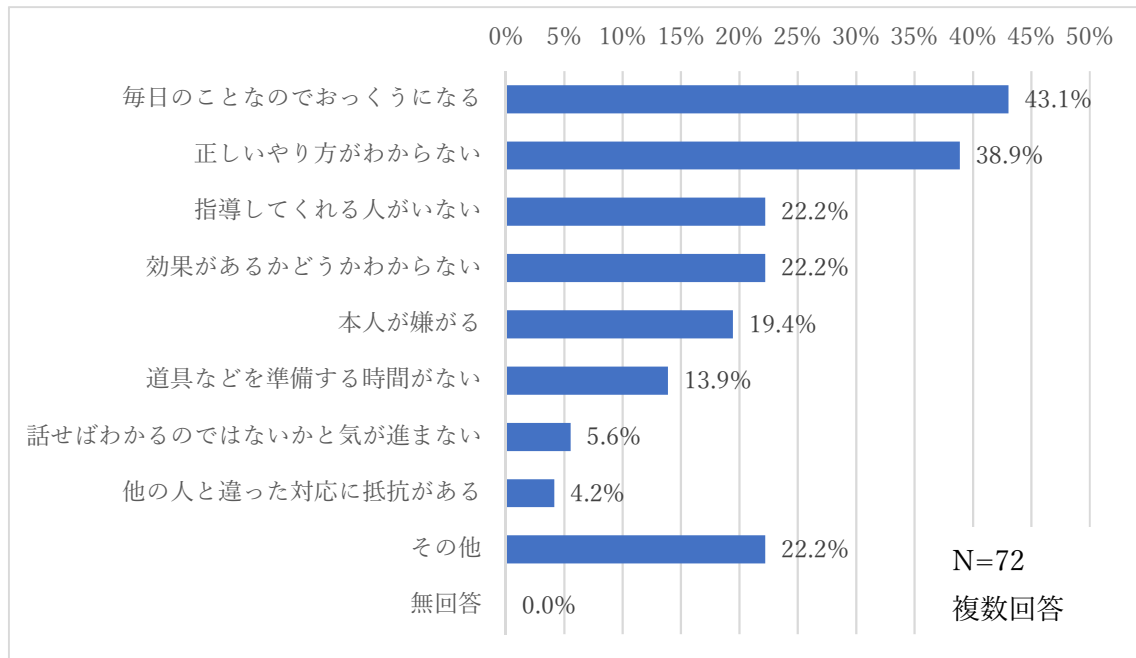
難しいと感じることがあるかについては、「はい」(59.0%)、「いいえ」(32.8%)となっている。



N=122

副問 1 5 - 3 - 1 副問 1 5 - 3 で「はい」と答えた方におたずねします。どのようなことに難しさを感じますか。当てはまるものを 3 つまで選んでください。

どのようなことに難しさを感じるかについては、「毎日のことなのでおっくうになる」(43.1%) が最も多く、次いで「正しいやり方がわからない」(38.9%)、「指導してくれる人がいない」(22.2%) となっている。



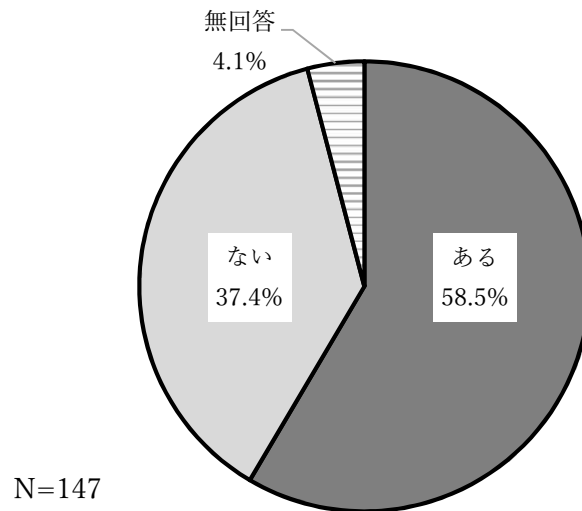
(その他)

- ・生理の時は普段やっている手立てが通じた
- ・その日の気分や体調が分かりにくいいためそのタイミングが分らないです。毎回、効果があるわけでもありません。
- ・型を作ってしまうと突然の変更の時に困ってしまう。
- ・急な変更に対応できずパニックになる事がある
- ・何度も自己主張を続けるので、なぜそうなるのか本人が納得する説明をすることが難しい
- ・理解できない
- ・支援者が「手立て」をうまく伝えられない。本人が家族以外に伝えられない。
- ・人がくると音でこわがる、多人数が受け入れられない。
- ・いつもとちがう状況への対応。例えば、大雪などで通園バスが運行中止になるとか、バスに乗車する時間にトイレに入って下痢などで乗れないこと。
- ・何度も教えたり、声かけしても変わらない、学習しない
- ・母親に対してのみ激しい対応になるので、他人の理解を受けにくい、また将来それが他人に対して起きないかも心配
- ・言葉を発しないので表情で読み取るしかなくコミュニケーションが取りにくい
- ・本人が伝えたい事が何かわからない

【D ご本人の日常生活を支える「基本の手立て」について伺います（その③ 支援体制について）】

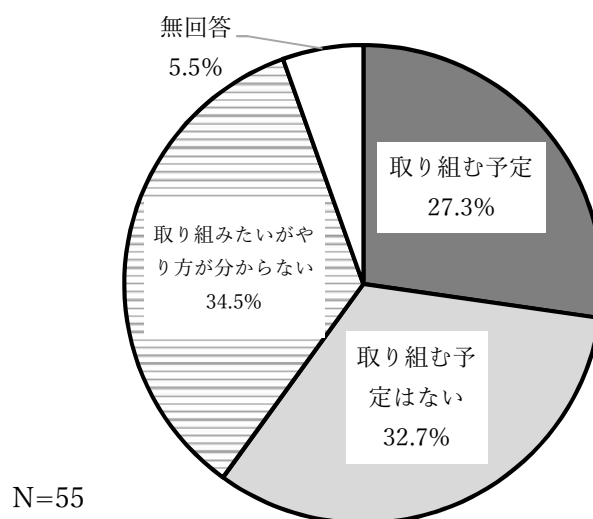
問16 日常生活上の「手立て」を講じるにあたり、医療・福祉・教育・雇用（労働）などの身近な支援者と一緒に取り組んだことがありますか。

身近な支援者と一緒に取り組んだことがあるかについては、「ある」（58.5%）、「ない」（37.4%）となっている。



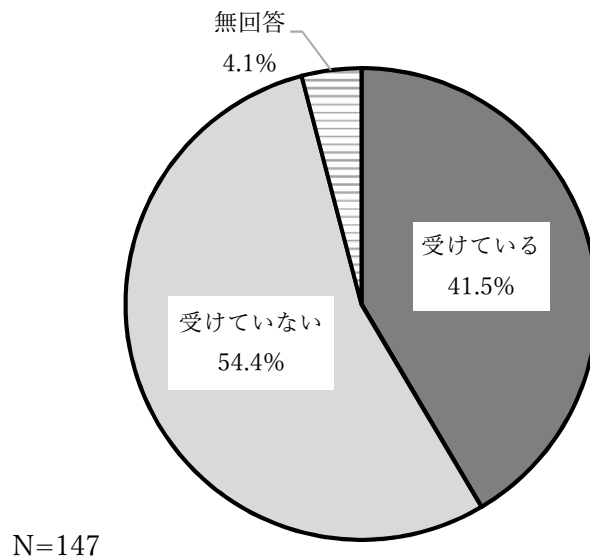
副問16-1 問16で「ない」と答えた方におたずねします。今後の予定について、当てはまるものを1つ選んでください。

今後の予定については、「取り組む予定」（27.3%）、「取り組む予定はない」（32.7%）、「取り組みたいがやり方が分からない」（34.5%）となっている。



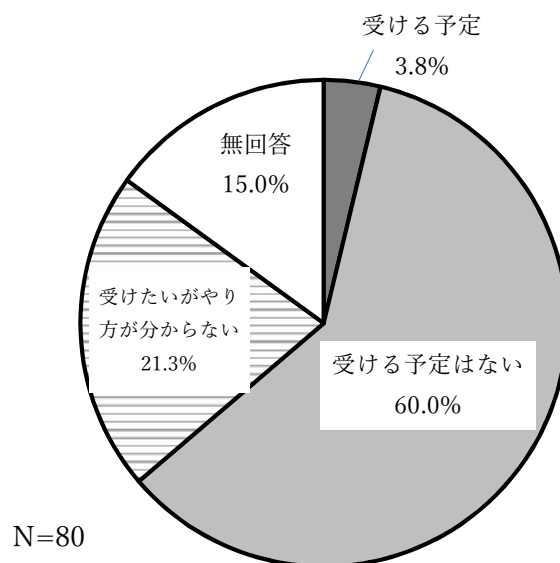
問17 あなたは専門機関（病院、発達障害者センターつばさ、障害者基幹相談支援センター、子ども総合センター等）から、ご本人の支援に関する助言や指導を受けていますか。

支援に関する助言や指導を受けているかについては、「受けている」（41.5%）、「受けていない」（54.4%）となっている。



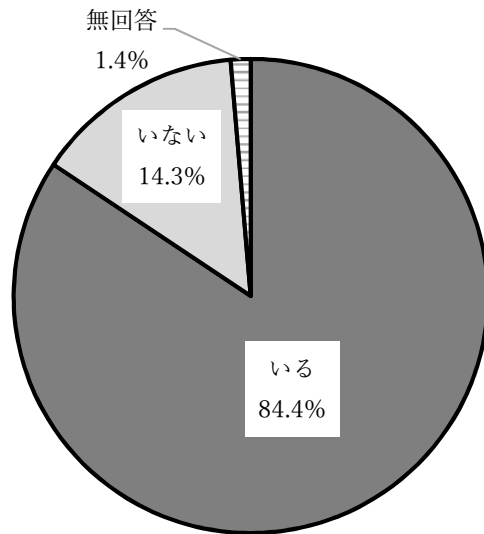
副問17-1 問17で「受けていない」と答えた方におたずねします。今後の予定について、当てはまるものを1つ選んでください。

今後の予定については、「受ける予定」（3.8%）、「受ける予定はない」（60.0%）、「受けたいがやり方が分からない」（21.3%）となっている。



問18 ご本人の支援について、困ったときに頼れる相手はいますか。

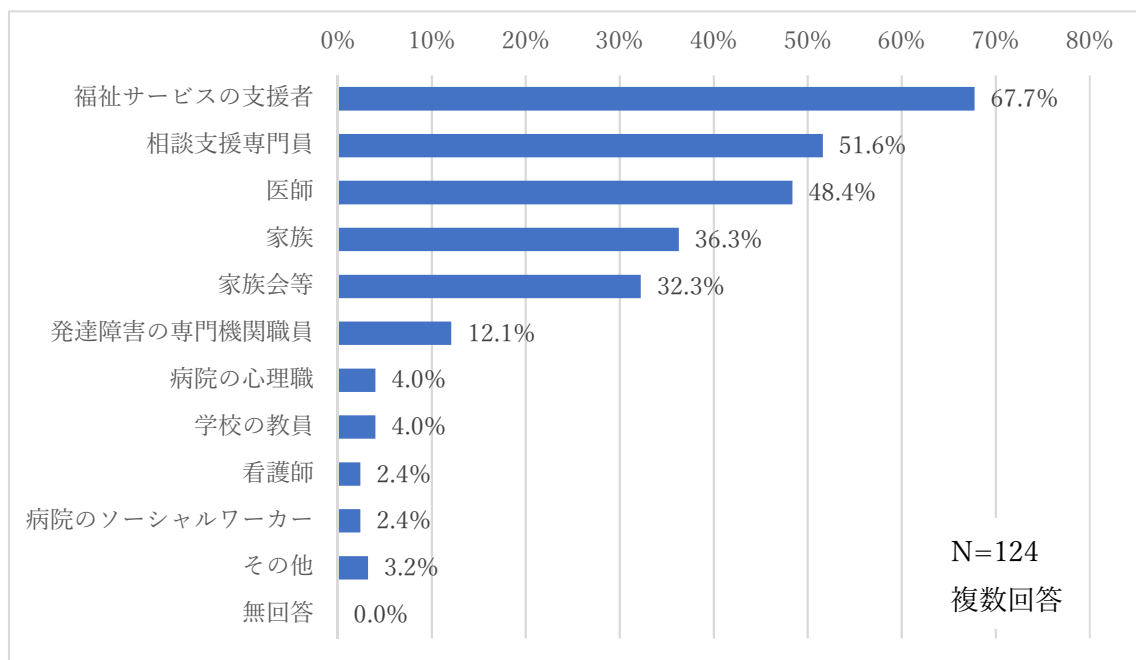
頼れる相手がいるかについては、「いる」(84.4%)、「いない」(14.3%)となっている。



N=147

副問18-1 問18で「いる」と答えた方におたずねします。主な相談相手はだれですか。当てはまるものをすべて選んでください。

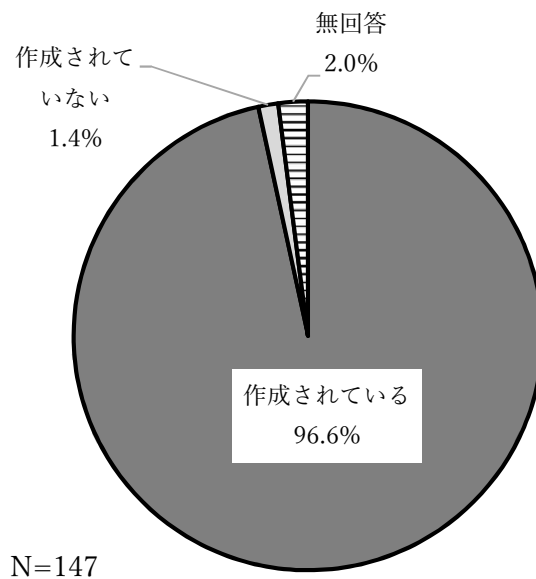
相談相手については、「福祉サービスの支援者」(67.7%)が最も多く、次いで「相談支援専門員」(51.6%)、医師(48.4%)となっている。



(その他) 元支援学校教育、通所施設の職員、ヘルパー、メーリングリスト「特別支援教育ネットワーク」

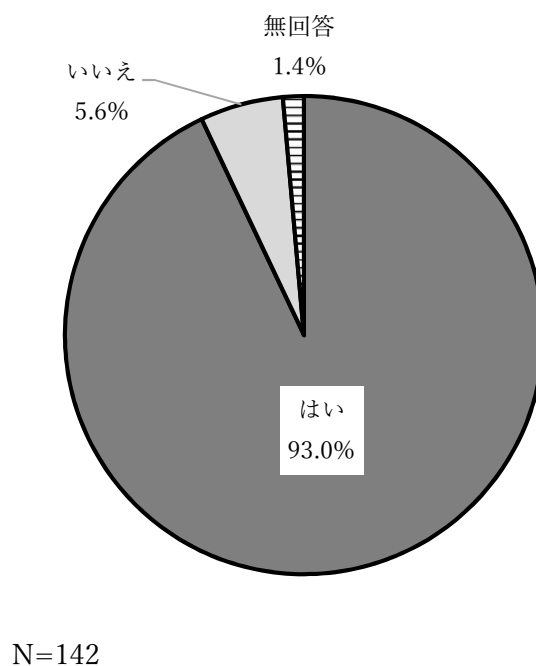
問19 日頃利用されている障害福祉サービス事業所では、個別の支援計画は作成されていますか。

個別の支援計画を作成しているかについては、「作成されている」(96.6%)、「作成されていない」(1.4%)となっている。



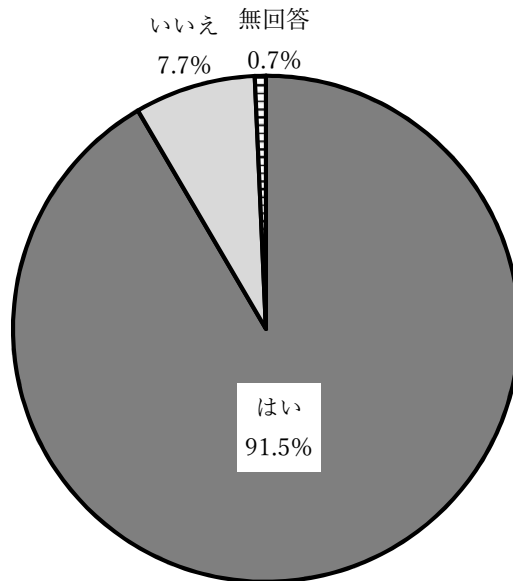
副問19-1 問19で「作成されている」と答えた方におたずねします。作成された計画について、定期的に取り組みの結果を振り返り、その成果や課題を踏まえて内容の見直しが行なわれていますか。

成果や課題を踏まえて内容の見直しをしているかについては、「はい」(93.0%)、「いいえ」(5.6%)となっている。



副問19-2 問19で「作成されている」と答えた方におたずねします。ご本人の支援計画の作成やその見直し作業に参加して、意見や要望を直接伝えていますか。

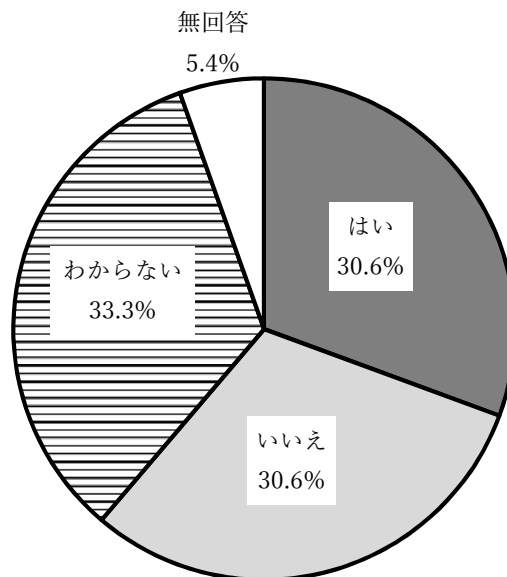
意見や要望を伝えているかについては、「はい」(91.5%)、「いいえ」(7.7%)となっている。



N=142

問20 ご本人の支援にあたり、専門的な手法を一部でも取り入れていますか。

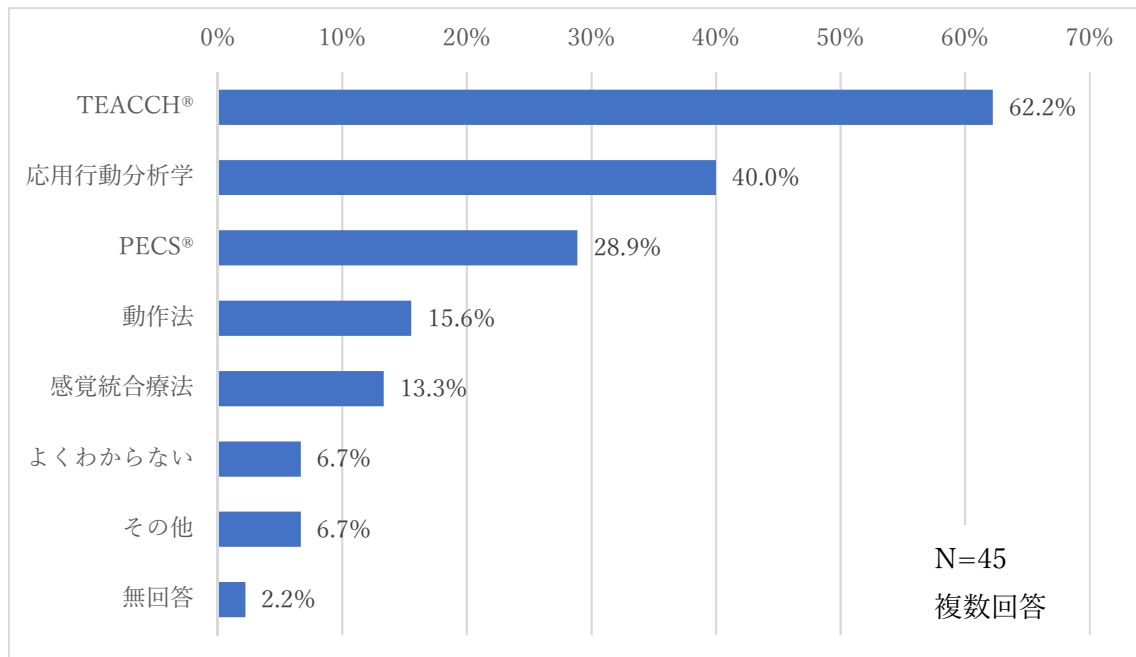
専門的な手法を取り入れているかについては、「はい」・「いいえ」(30.6%)、「わからない」(33.3%)となっている。



N=147

副問20-1 問20で「はい」と答えた方におたずねします。どのような手法を取り入れていますか。当てはまるものをすべて選んでください。

どのような手法を取り入れているかについては、「TEACCH®」(62.2%)が最も多く、次いで「応用行動分析学」(40.0%)、「PECS®」(28.9%)となっている。

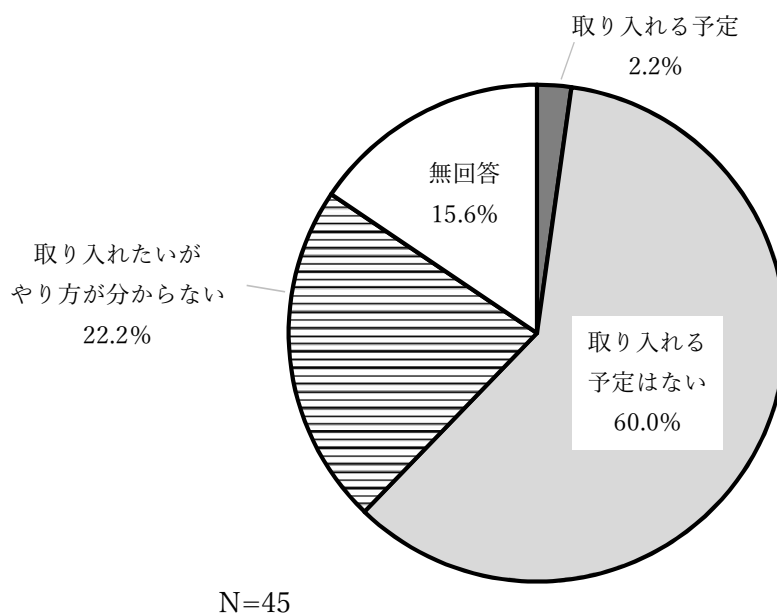


(その他)

- ・本人に合うだろうと思うことを少しずつ取り入れています。専門的に学んだことはありません。
- ・胸をさすって口でゆっくり息をさせて落ち着かせる
- ・構造化、可視化、規則正しいスケジュール

副問20-2 問20で「いいえ」と答えた方におたずねします。今後の予定について、当てはまるものを1つ選んでください。

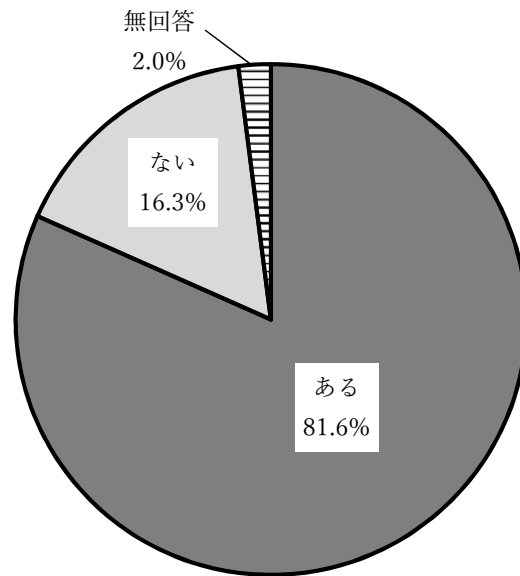
今後の予定については、「取り入れる予定」(2.2%)、「取り入れる予定はない」(60.0%)、「取り入れたいがやり方がわからない」(22.2%)となっている。



【E 医療機関での治療について伺います】

問 2 1 ご本人の障害特性に伴う症状を治療するために、医療機関を受診したことはありますか。

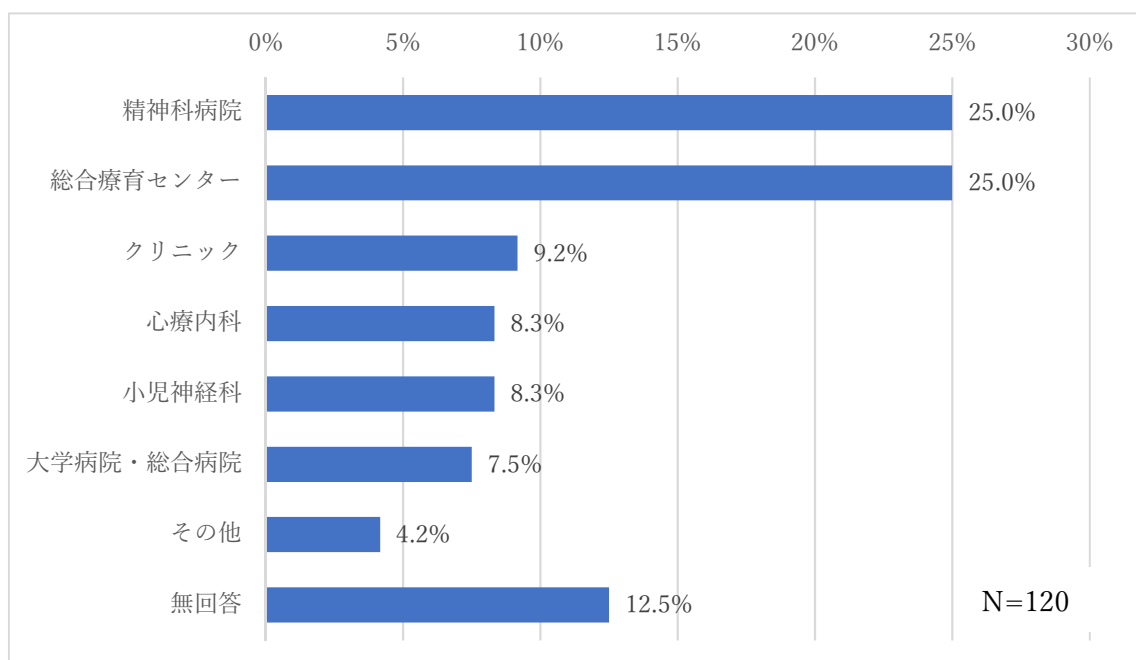
医療機関を受診したことがあるかについては、「ある」(81.6%)、「ない」(16.3%)となっている。



N=147

副問 2 1-1 問 2 1 で「ある」と答えた方におたずねします。現在通院または入院している医療機関は次のうちどれにあたりますか。当てはまるものを1つ選んでください。

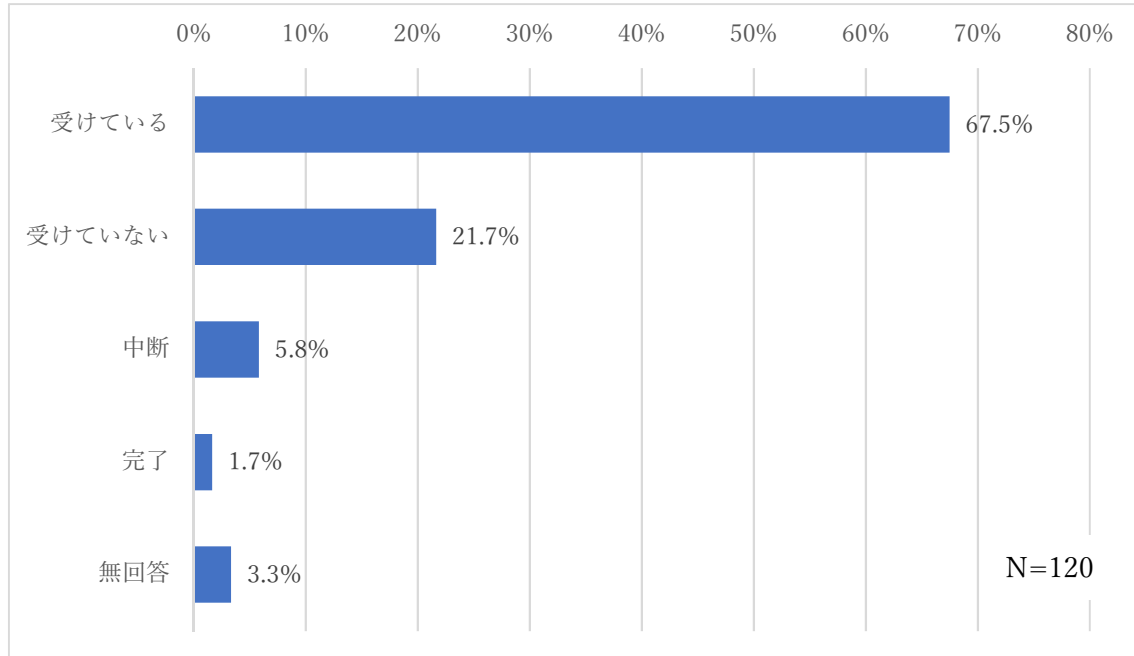
医療機関については、「精神科病院」・「総合療育センター」(25.0%)が最も多く、次いで「クリニック」(9.2%)となっている。



(その他) 総合病院の脳神経内科、クリニックの薬の処方を受けています。(神経内科)、静岡てんかんセンター、内科

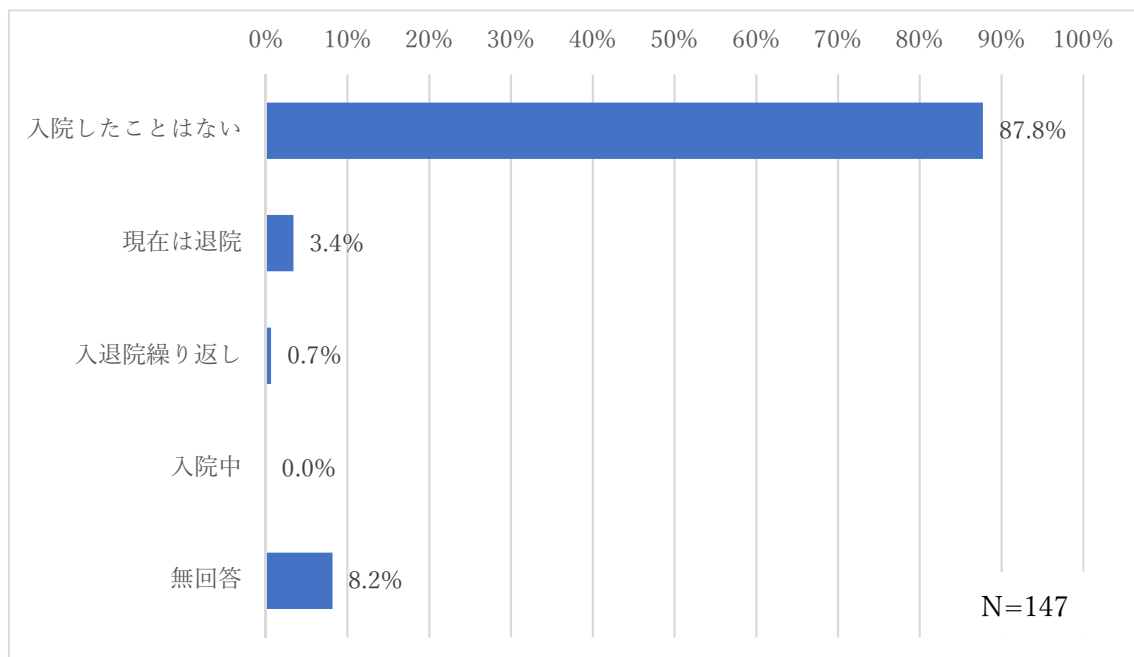
副問 2 1-2 問 2 1 で「ある」と答えた方におたずねします。現在通院または入院している（あるいは最後に受診した）医療機関では、障害特性に伴う症状を治療するための投与を受けていますか。当てはまるものを1つ選んでください。

治療するための投与については、「受けている」（67.5%）が最も多く、次いで「受けていない」（21.7%）、「中断」（5.8%）となっている。



問 2 2 ご本人の障害特性に伴う症状を治療するために、精神科病院に入院したことはありますか。当てはまるものを1つ選んでください。

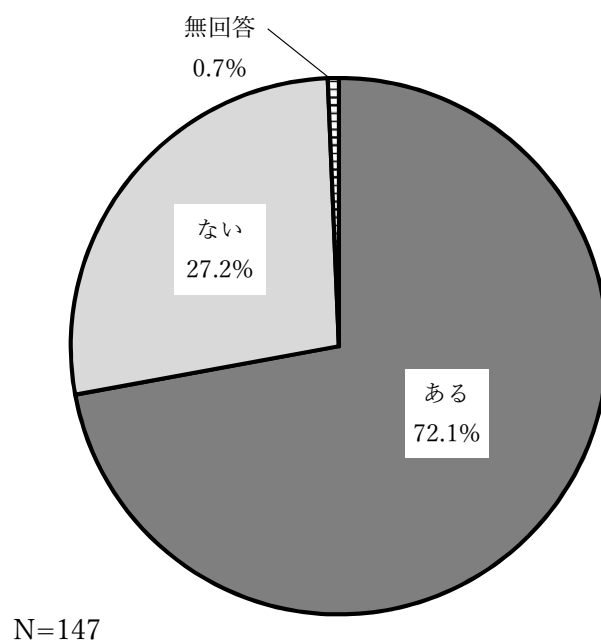
精神科病院に入院したことがあるかについては、「入院したことはない」（87.8%）が最も多く、次いで「現在は退院」（3.4%）、「入退院繰り返し」（0.7%）となっている。



【F ご本人の状態が悪化して危機的な状況（パニック）になったときのことを伺います】

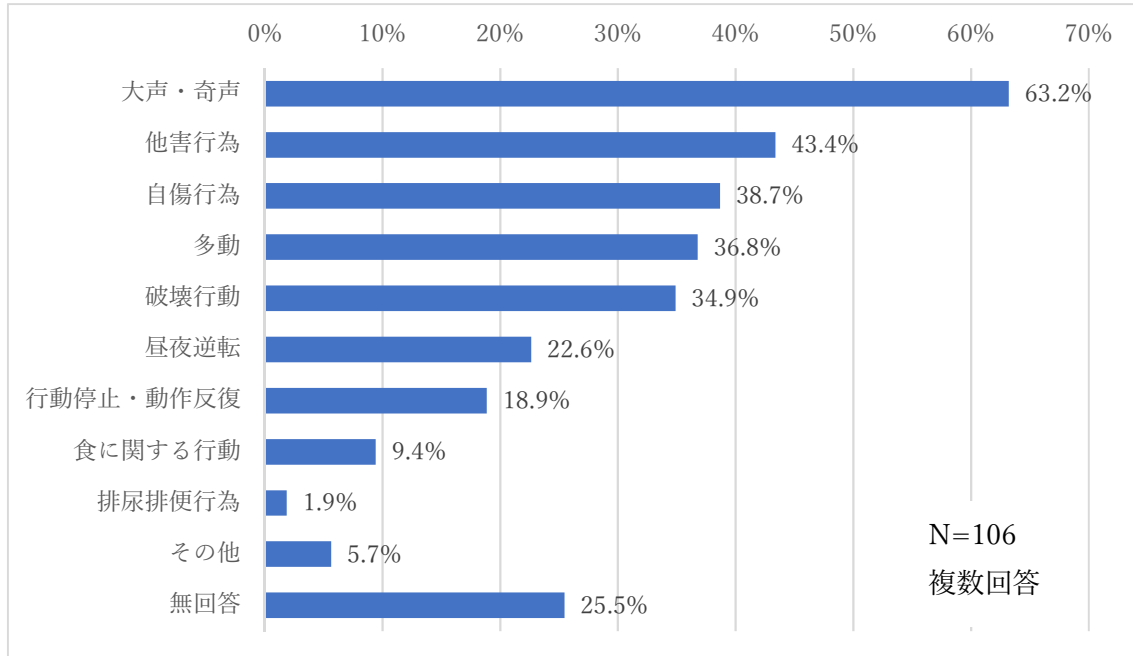
問23 過去1年間に、ご本人の状態が悪化して危機的な状況（パニック）になったことがありますか。

過去1年間に、危機的な状況（パニック）になったことがあるかについては、「ある」（72.1%）、「ない」（27.2%）となっている。



副問23-1 問23で「ある」と答えた方におたずねします。ご本人の状態が悪化したとき、具体的にどのような状態がより激しくなりましたか。当てはまるものをすべて選んでください。

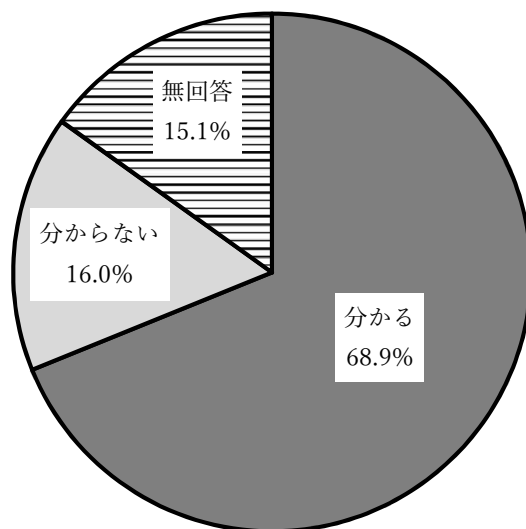
どのような状態がより厳しくなったかについては、「大声・奇声」(63.2%)が最も多く、次いで「他害行為」(43.4%)、「自傷行為」(38.7%)となっている。



- ・吐く、多飲
- ・外へ出ていく、激しい独語
- ・とびまわる
- ・てんかん発作の重積化
- ・背中をさすって泣きたいだけ泣かせて気がすむまで離れない。声かけをしながら落ち着かせる。
- ・壁に頭をうちつけたり、ひっくりかえりトイレの貯水タンクを破壊した。かけぶとんをビリビリ破り綿を全部出してしまった。

副問23-2 問23で「ある」と答えた方におたずねします。なぜそのような状態になったか、理由はわかりますか。

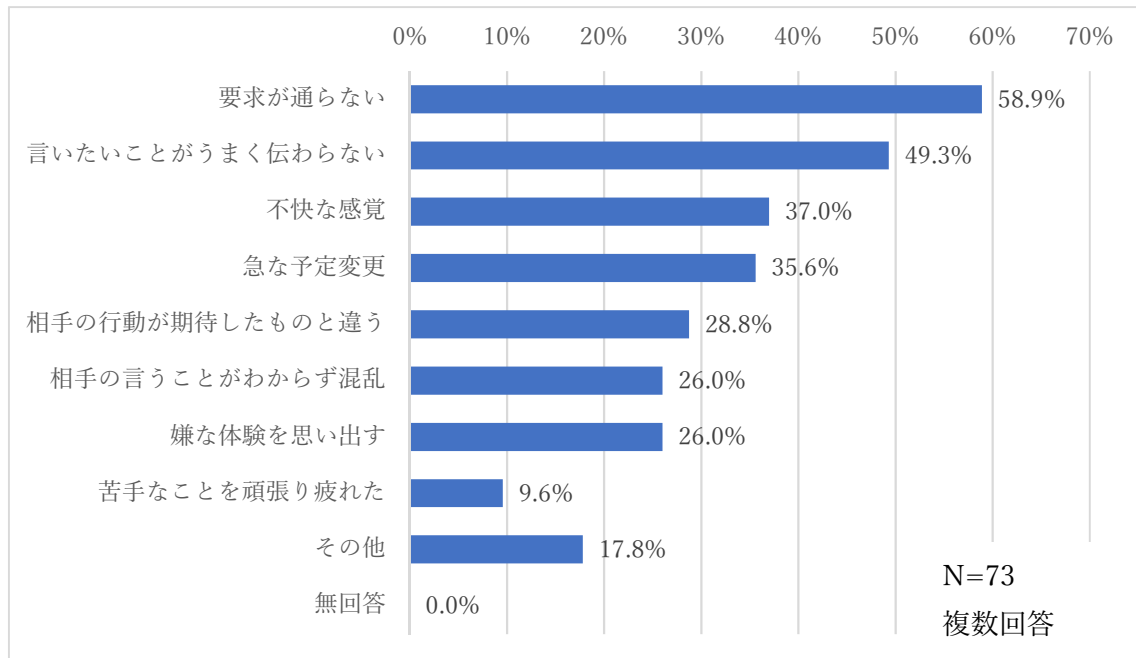
状態が悪化した理由については、「分かる」(68.9%)、「分からない」(16.0%)となっている。



N=106

副問 2 3-2-1 副問 2 3-2 で「分かる」と答えた方におたずねします。主な理由は何ですか。当てはまるものを重要なものから3つまで選んでください。

状態が悪化した主な理由については、「要求が通らない」(58.9%) が最も多く、次いで「言いたいことがうまく伝わらない」(49.3%)、「不快な感覚」(37.0%) となっている。

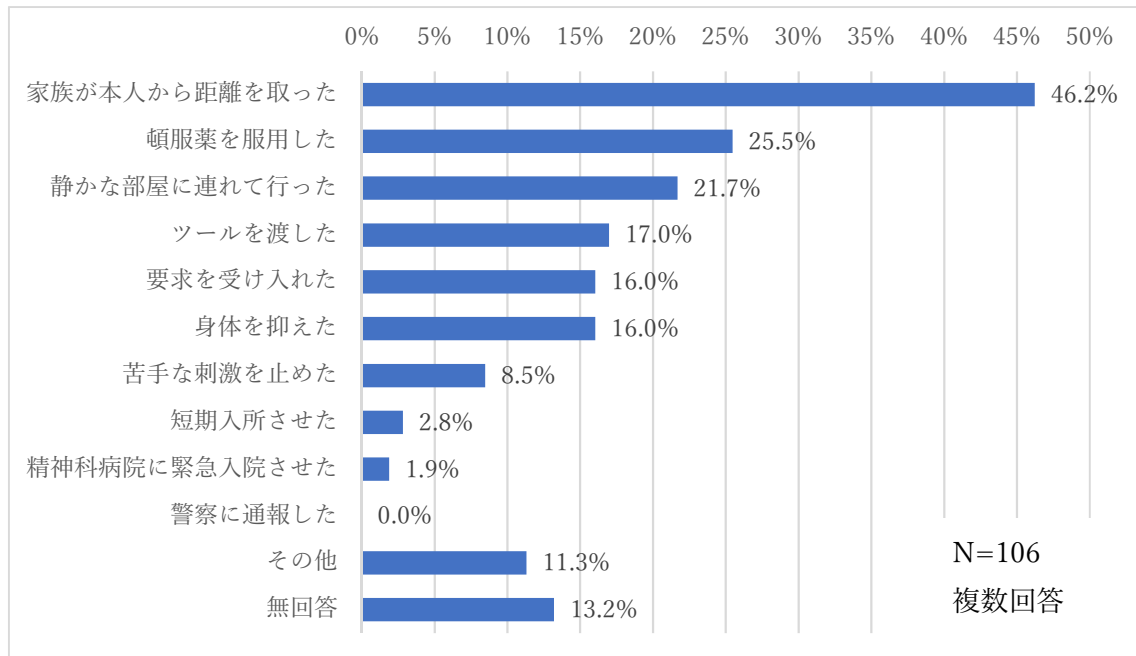


(その他)

- ・ 気になることが頭から離れず、繰り返し思い出す
- ・ 周辺の女性の泣き声に同調しパニックになる
- ・ 将来の不安から (支援学校卒業後、就職をしたことがないので)
- ・ 幻聴などによる
- ・ 母親が重篤な病にかかった
- ・ 風邪をひいて高熱が出たのでけいれんを起こした。熱性けいれんの薬をのんでいる。
- ・ 苦手な音を聞いた時
- ・ リサイクル DVD ショップで欲しかった DVD を目の前で他の客に先に買われた
- ・ てんかん発作
- ・ 不安定になる (家族の病気、施設での出来事とか)
- ・ 注意され感情のコントロールがきかなかった
- ・ 予測できる場合もありますが、殆んどの場合急に起こります。(3つ選べない)

副問2 3-3 問2 3で「ある」と答えた方におたずねします。ご本人の危機的な状況（パニック）は、どのようにして収まりましたか。当てはまるものを3つまで選んでください。

どのようにして収まったかについては、「家族が本人から距離を取った」(46.2%)が最も多く、次いで「頓服薬を服用した」(25.5%)、「静かな部屋に連れて行った」(21.7%)となっている。

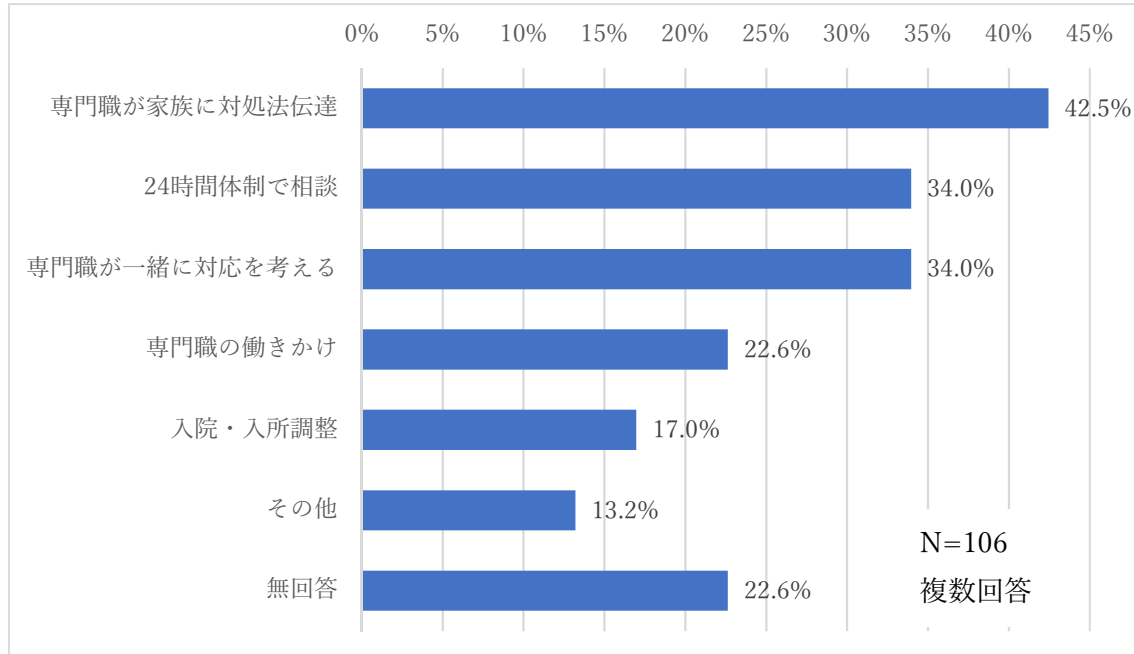


(その他)

- ・パニックは現在はおこさないというより、症状がない、最重度なのでおとなしくしている。
- ・お話ノートで解決する方法を絵や文字にして図式化して伝えていった
- ・場面や話を変更して気をまぎらわせて、落ちついた
- ・健康茶で完全に治まりました。
- ・パニックなどおきない
- ・呼吸法などで体の力を抜いて本人からトーキングエイドで話を聞く。
- ・買ったかったDVDをアマゾンで買ってあげる約束をした。
- ・選択肢を含め、これをすれば収まるということはなく本人の力が強いと十分に身体を抑えることも難しく、本人の興奮が収まるまで耐えるというのが現状。
- ・時間がたつと収まる。
- ・本人を外に連れ出し家族から距離を取り、話を聞き本人の思いに寄り添うようにした
- ・しばらく抱きしめて背中をさすると落ち着く。

副問2 3-4 問2 3で「ある」と答えた方におたずねします。ご本人の状態が悪化して危機的な状況（パニック）になったとき、必要な支援は何だと思えますか。当てはまるものを3つまで選んでください。

必要な支援については、「専門職が家族に対処法伝達」(42.5%)が最も多く、次いで「24時間体制で相談」・「専門職と一緒に対応を考える」(34.0%)となっている。

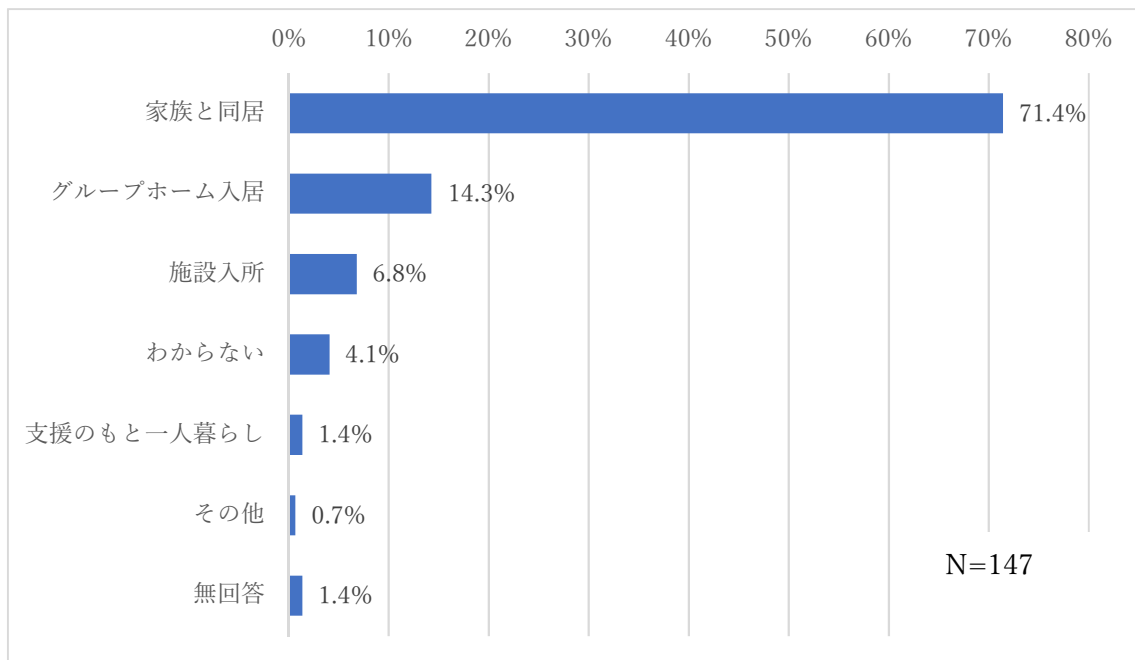


(その他)

- ・落ち着くまで待つ
- ・本人の部屋で一緒にいること
- ・対処法を家族が使いこなせるようになること
- ・すぐに手助けしてくれること
- ・支援者が必要な支援、ツールを家族と共有して使えるようになること
- ・専門職でも相性があるので難しいです。
- ・本人及び周囲の者の安全確保。場合によっては警察に。
- ・通所施設ですごしている時間が多いので施設支援員の方も一緒に対応を考えてくれること。
- ・時間がたつと(しばらくすると)大体落ち着きます。
- ・よくわからない

問24 あなたは現在、ご本人にどこで、どのような暮らし方をしてほしいと考えていますか。当てはまるものを1つ選んでください。

現在については、「家族と同居」(71.4%)が最も多く、次いで「グループホーム入居」(14.3%)、「施設入所」(6.8%)となっている。



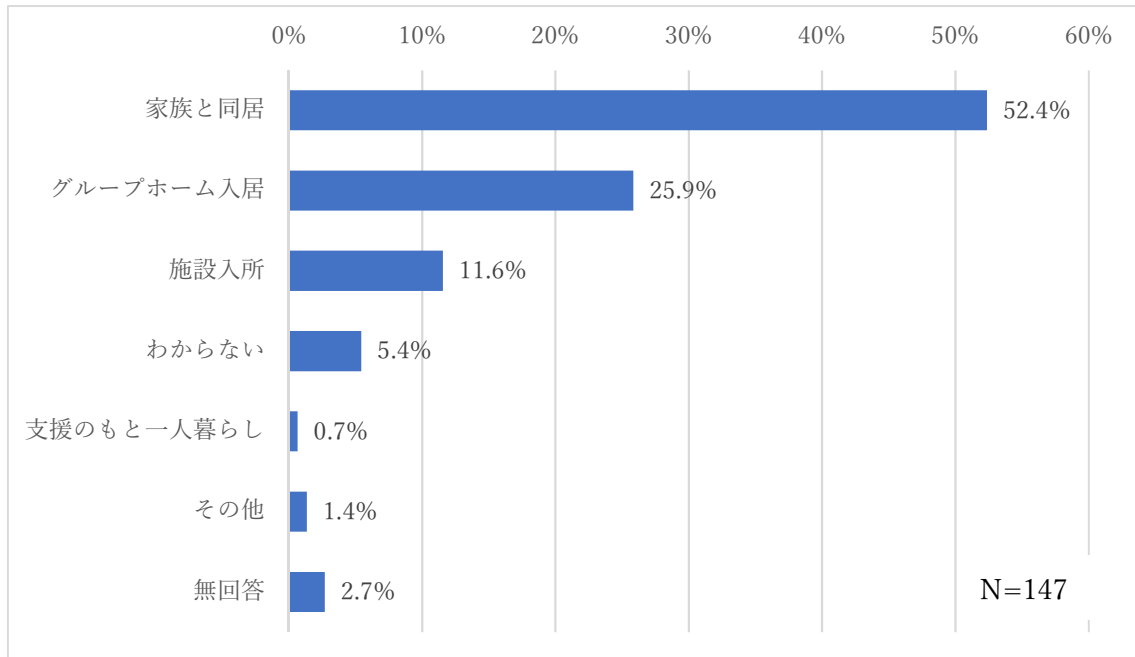
(その他)

- ・父親71才、母親63才のため今でもきつい。
- ・いろいろ考えてはいるが、娘のことを想うと何が1番良いのか答えを見つけられない。
- ・少人数の男女が別々の棟で寝起きする重度のケアホーム(少人数)を作ったり、空き家とかを利用しながら支援をしたらいいと思う。兄弟がいればよいが一人っ子だと会いに行く人もいないのが悲しいです。

問25 あなたは将来、ご本人にどこで、どのような暮らし方をしてほしいと考えていますか。5年後、10年後、20年後について、当てはまるものを1つ選んでください。

【5年後】

5年後については、「家族と同居」(52.4%)が最も多く、次いで「グループホーム入居」(25.9%)、「施設入所」(11.6%)となっている。

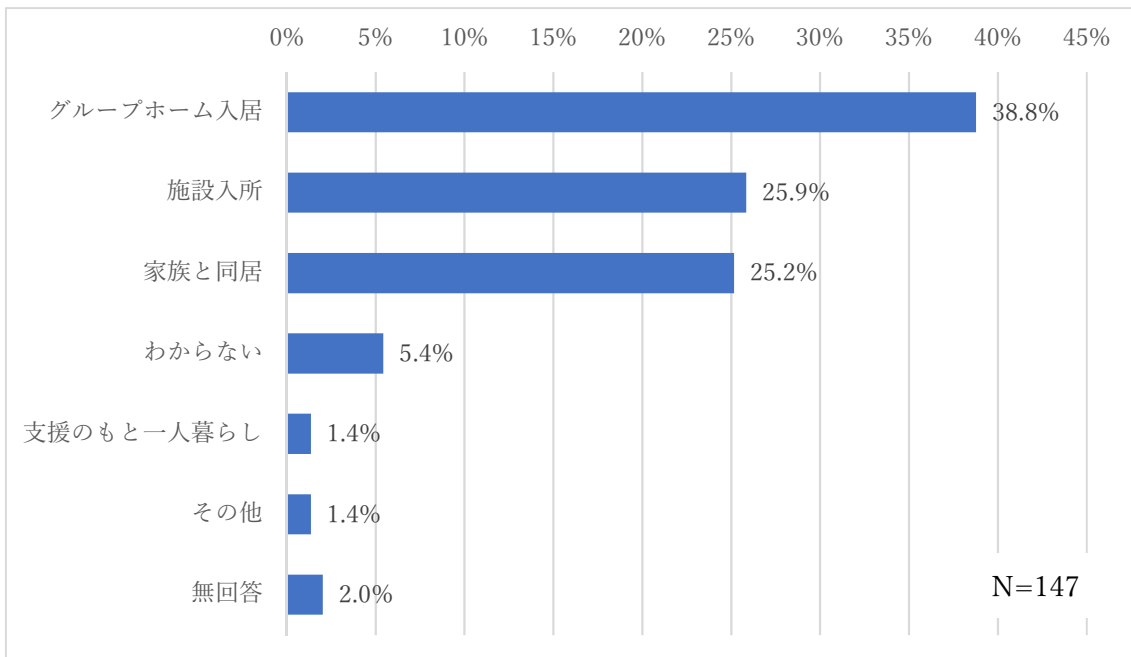


(その他)

- ・母が元気な時は同居で、母の具合が悪くなればグループホームに入居できるようお願いしています。
- ・少しずつ自宅から施設に通い、通う回数を増やしていく
- ・家族との同居を続けられない場合に、施設入所等を考える

【10年後】

10年後については、「グループホーム入居」(38.8%)が最も多く、次いで「施設入所」(25.9%)、「家族と同居」(25.2%)となっている。

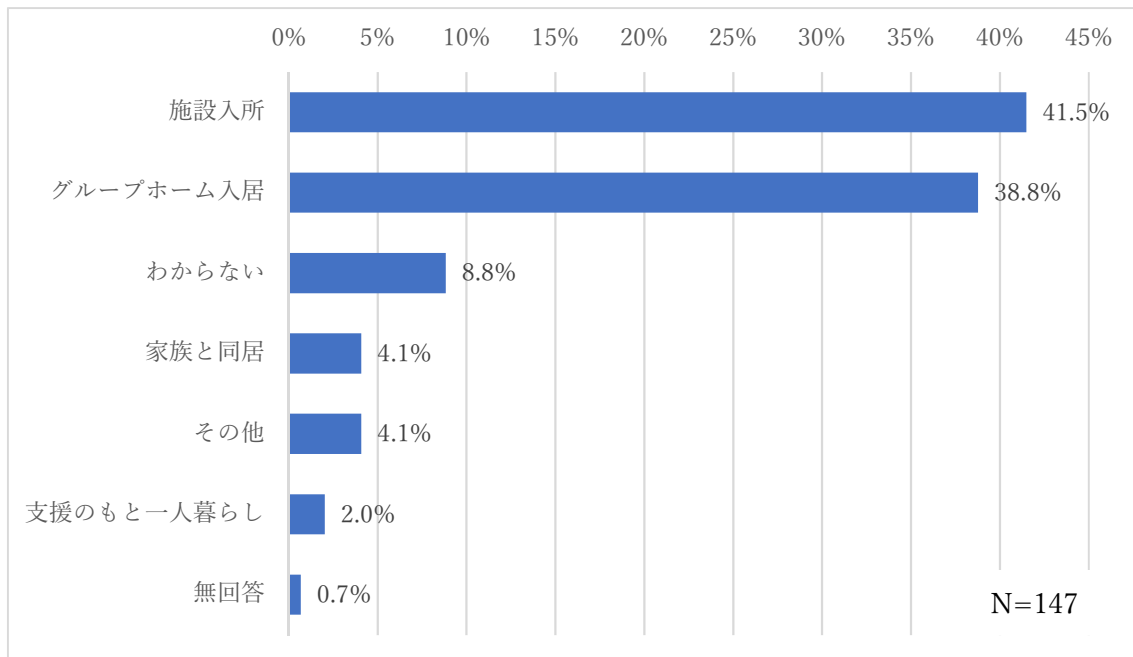


(その他)

- ・高齢者施設に共に入所、難しいでしょうが..
- ・今住んでいる家で支援をしてほしいです。

【20年後】

20年後については、「施設入所」(41.5%)が最も多く、次いで「グループホーム入居」(38.8%)、「わからない」(8.8%)となっている。



(その他)

- ・親がもう死んでいるかもしれない(84才)
- ・その時にならないとわからない
- ・親が71才、63才で、20年後は、この世にいないので、今のうちに考えたい。
- ・希望としては、私が生きている間はずっと一緒にいたいと思っています。ですが、私も年をとり世話を一人でする事ができなくなるはずです。その時一緒に入所できる施設があるといいなと思っています。そこで、子供の事を施設の方に伝えながら生活して、子供が施設で楽しく過ごす事ができる姿を確認し安心したいと思います。障害のある子と一緒に入所できる施設をぜひ作っていただきたいです。安心して死にたいと思います。
- ・私が元気なうちにこの先任せられる所を探したい
- ・先の事は分かりません。元気な間は今のままで。
- ・高齢者施設に共に入所、難しいでしょうが..
- ・今住んでいる家で支援をしてほしいです。